東大分校区社会福祉協議会

地　域　福　祉　活　動　計　画

東大分校区社会福祉協議会・大分市社会福祉協議会

ごあいさつ

大分市において、平成 26 年度より「みんなが主役の支え合いプラン」（第３期大分市地域福祉計画・第４次地域福祉活動計画）に基づき、地域福祉推進に向けた取り組みが推進されています。

ここ東大分校区において、東大分校区社協としては、大分市社協の地域福祉活動計画の基本理念である「支えあって、ともに生きる、みんなが主役のまちづくり」をともに目指し、概ね自治会ごとの小地域において、民生委員児童委員を中心に地域住民と協力して、ふれあい活動（小地域福祉ネットワーク活動）等の地域福祉活動を進めてきました。

近年、国においては、「我が事・丸ごと」の地域共生社会実現に向けた地域福祉の推進の概念が提唱されるなど、社会福祉を取り巻く環境は大きく変動しています。こうした状況に対応していくためには、公的機関や専門職の対応のみならず、地域社会の中で住民どうしのつながりを進める地域福祉活動が重要であるとされています。

今回、東大分校区社協では、大分市社協と連携し「ふれあい活動を通じた地域福祉推進事業」を実施しました。その内容は、ふれあい対象者を対象に実態調査を行い、「地域でのつながりの場の充実」と「地域福祉活動実践者（校区社協活動への協力者）の拡大」をテーマに掲げ、既に地域活動を実践している方々とともに「話し合い」を行い、住民同士の支え合い、助け合う関係を強めていくための計画策定に取組みました。

そして、約一年かけて、東大分校区社協の事務局と地域福祉推進委員を中心に、「情報発信の充実を図ろう！」「ふれあいサロンの立ち上げを支援しよう！」「ふれあいサロンどうしのつながりの場をつくろう！」「日常生活を支えるボランティア組織についての検討に協力します！」の４つを基本目標とした「東大分校区社会福祉協議会地域福祉活動計画」を策定いたしました。

この計画の推進が、東大分校区の地域福祉活動の発展につながることを祈念するとともに、計画を策定するにあたりご尽力いただきました関係者並びにご意見をお寄せいただきました皆様に、感謝を申し上げ、ご挨拶といたします。

東大分校区社会福祉協議会
会長　　松岡　勝代

目　次

第１章　はじめに　1

（1）計画策定の背景　1
（2）大分市社会福祉協議会とは　1
（3）校（地）区社会福祉協議会とは　1

第2章　東大分校区について　2

（1）東大分校区の概要　2
（2）校（地）区社会福祉協議会について　2
（3）人口推移　2
（4）ふれあい活動（小地域福祉ネットワーク活動）の現状　3
（5）高齢者サロンについて　5
（6）老人会について　6

第3章　ふれあい対象者に関する実態調査　7

基本目標1：「地域のつながりをつくる」に関する設問　8
基本目標2：「地域福祉の担い手をつくる」に関する設問　10
基本目標3：「困りごとを深刻化させない」に関する設問　12
基本目標4：「安心・安全をつくる」に関する設問　15

第4章　東大分校区の活動計画と策定までのプロセス　16

（1）目標と具体的取り組み　16
（2）計画策定メンバー　20
（3）計画策定経過　21

第5章　資料編　22

（1）他の活動紹介　22
（2）実態調査票　27
（3）実態調査集計結果　30

第１章　はじめに

（1）計画策定の背景

東大分校区は、大分市中心部の東側に隣接した、大分市郊外の住宅地であり、商店も多く賑わいのある地域です。校区には国道１９７号線、JR 牧駅や大分バスの路線も通る大変利便性の良い地域で、周辺には護国神社や平和市民公園など、自然豊かな憩いの場もあり親しまれています。

時代の変遷とともに、地域の様子や人と人との関わり方も少しずつ変わっていますが、今も昔も地域を支えてきたのは、校区に対する愛情と人と人とのつながりです。

私たちは、先輩たちが守り育ててきた地域の絆を、さらに太く育て次の子どもたちの世代に引き継いでいくため、今回、大分市社会福祉協議会とともに、「東大分校区福祉活動計画」を策定いたしました。

誰もが住みたくなる町、いつまでも住みたくなる街・東大分校区を目指してまいります。

（2）大分市社会福祉協議会とは

社会福祉協議会は、社会福祉法第 109 条に規定された「地域福祉の推進を目的とした団体」で、民間組織としての自主性と広く住民や社会福祉関係者に支えられた公共性という２つの側面をあわせもった、民間の非営利組織です。社協は、地域の中の課題の把握に努め、組織構成員とともに考え、協力して解決を図ることにより、住民全体の地域福祉の向上を目指しています。

（3）校（地）区社会福祉協議会とは

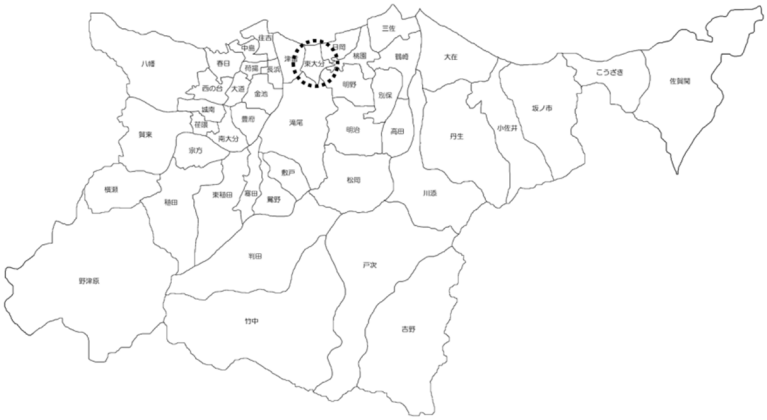
小学校区や中学校区等を基本に、自治会、民生委員・児童委員、老人クラブ、子ども会、校区内のボランティア等の地域住民で組織されている団体です。大分市社会福祉協議会との連携のもと、市内に 45 の校（地）区社会福祉協議会が組織されており、各地域の特性を考慮した個性ある自主的な福祉活動〔ふれあい活動（小地域福祉ネットワーク活動）や、校区単位での子育て支援や地域住民の交流行事など〕を展開しています。

第2章　東大分校区について

（1）東大分校区の概要

◇東大分校区は、大分市中心部の東側に隣接した、大分市郊外の住宅地であり、国道１９７号線、JR 牧駅や大分バスの路線も通る大変利便性の良い地域です。

◇12の自治会区と16の民生委員児童委員区、ボランティア団体等と連携し、「地域福祉の共助の核」として様々な事業に取り組んでいます。

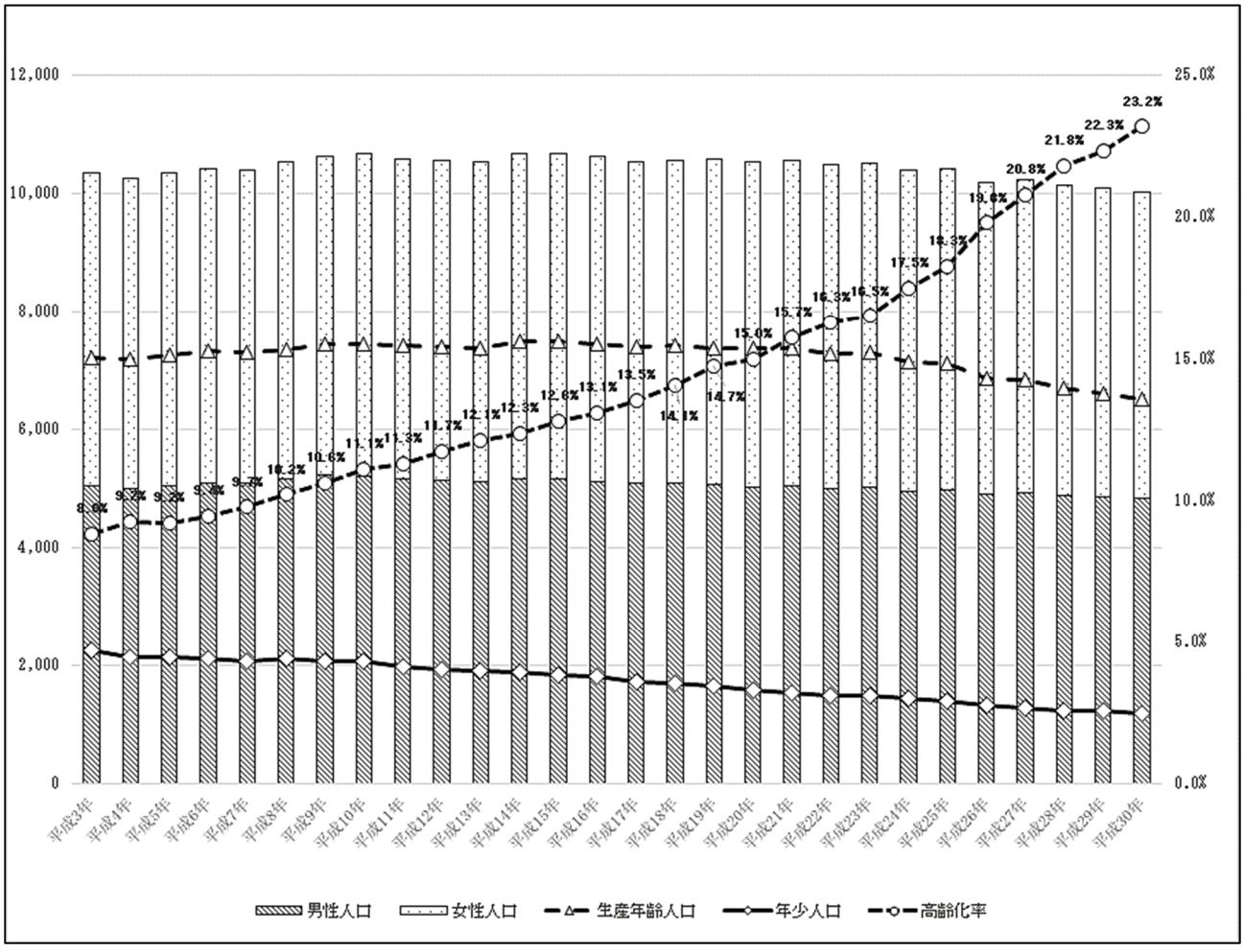


（2）校（地）区社会福祉協議会について

◇昭和 29 年に設立されました。

（3）人口推移

◇性別人口・生産年齢人口・年少人口・高齢化率の推移



資料：大分市住民基本台帳人口（各年代９月時点※一部３月）

（4）ふれあい活動（小地域福祉ネットワーク活動）の現状

①ふれあい対象者　　215 人

②ふれあい協力者　　118 人

③協力者のいない対象者　　98 人

④緊急連絡先のない対象者　10 人

⑤協力者・緊急連絡先が共にない対象者　　6 人

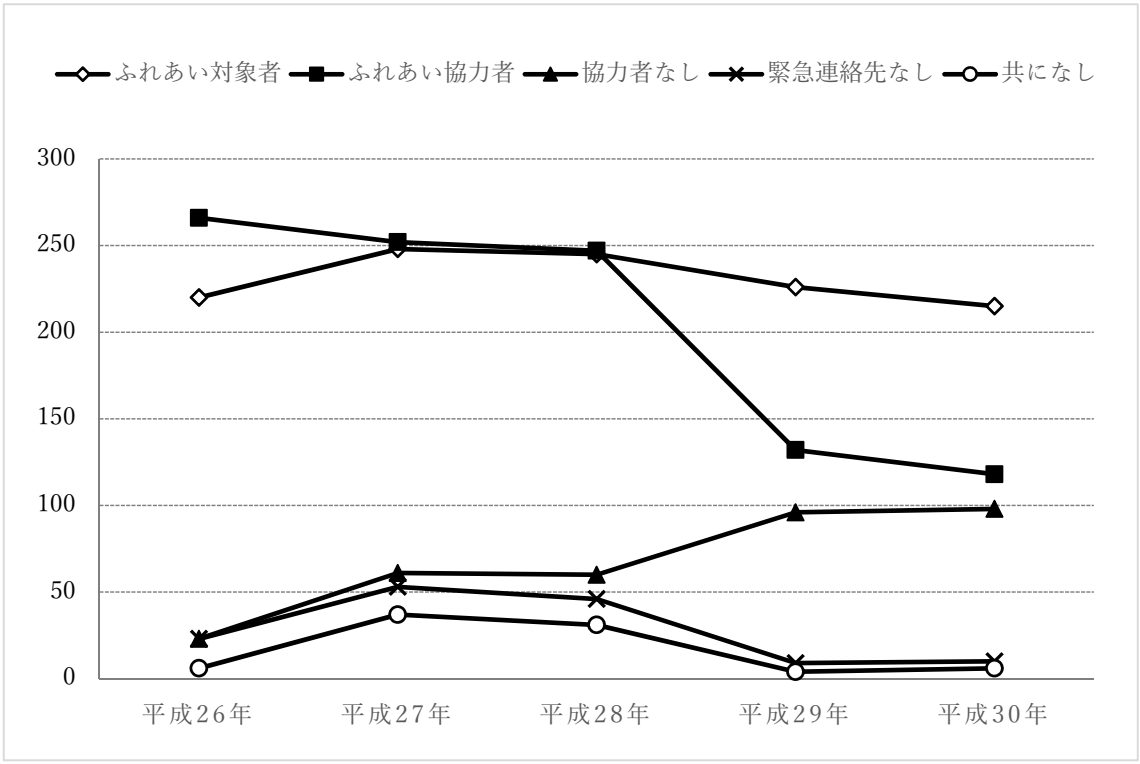
（平成 30 年 4 月 1 日現在）

番号	自治会名	①	②	③	④	⑤	番号	民生委員担当区	①	②	③	④	⑤
1	萩原１丁目	31	8	23	2	1	1	萩原1丁目1～10	10	7	3	1	0
							2	萩原1丁目11～19	21	1	20	1	1
2	萩原２丁目	13	6	7	2	1	3	萩原2丁目	13	6	7	2	1
3	萩原３丁目	36	28	10	2	0	4	萩原3丁目1～12	20	18	3	0	0
							5	萩原3丁目13～23	16	10	7	2	0
4	萩原４丁目	18	5	12	2	2	6	萩原4丁目1～8	9	2	6	1	1
							7	萩原4丁目9～16	9	3	6	1	1
5	牧上	14	6	9	1	1	8	牧上町（15番を除く）、牧組	14	6	9	1	1
6	牧一丁目	11	11	3	0	0	9	牧1丁目	11	11	3	0	0
7	牧ニ丁目	21	11	10	0	0	10	牧2丁目	21	11	10	0	0
							11	牧3丁目1～6番	12	7	4	1	1
8	牧三丁目	29	14	9	1	1	12	牧3丁目7～15、牧上町15	17	7	5	0	0
9	南萩原	21	9	11	0	0	13	南萩原（新栄町の一部、城東町の一部）	21	9	11	0	0
10	白滝	12	9	3	0	0	14	白滝（高城西町西部）1～7丁目、城東町の一部	12	9	3	0	0
11	高城	7	10	0	0	0	15	高城（高城西町中央）8～16丁目	7	10	0	0	0
12	高城東	2	1	1	0	0	16	高城（高城西町東側）17～27丁目	2	1	1	0	0

東大分地区のふれあい対象者推移

（平成 30 年 4 月 1 日現在）

東大分校区	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
ふれあい対象者	220	248	245	226	215
ふれあい協力者	266	252	247	132	118
協力者なし	23	61	60	96	98
緊急連絡先なし	23	53	46	9	10
共になし	6	37	31	4	6



～ふれあい活動（小地域福祉ネットワーク活動）とは～

「ふれあい協力者」が、日常生活の中で、「ふれあい対象者」への「見守り」や「声かけ」を行い、様々な変化に気づき自治会長・民生委員などにつなげ、地域での見守り合い・話し合い・助け合いの仕組みを構築する活動です。

「ふれあい対象者」：対象者の条件は特にありませんが、支援を要するひとり暮らし高齢者や障がい者、ひとり親世帯等で、本人が活動に同意された方

「ふれあい協力者」：ふれあい対象者に対し、日常的に「見守り」「声かけ」をしていただける近隣住民の方

「緊急連絡先」　：ふれあい対象者の緊急時（事故や急病など）の連絡先で、原則ふれあい対象者の身内の方にお願いしています

（5）高齢者サロンについて

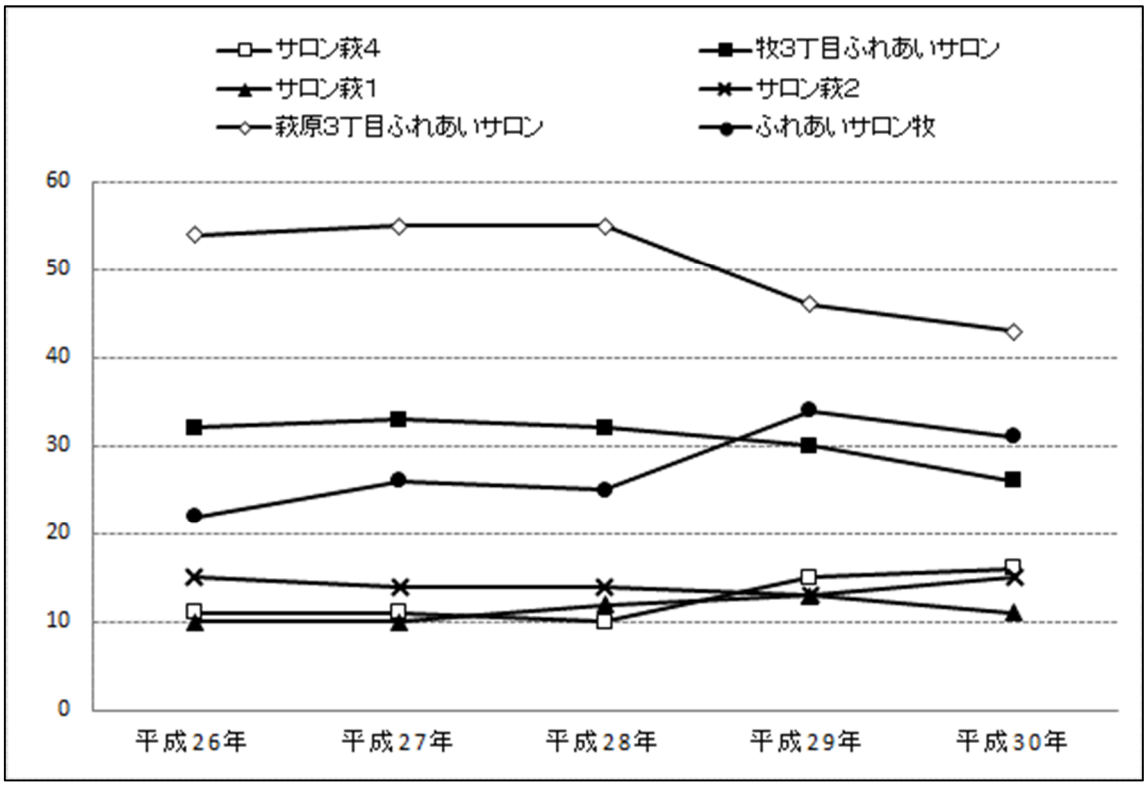
東大分校区内にある高齢者サロンは 6 ヶ所です。

（平成 30 年 4 月 1 日現在）

サロン名	開催場所	年間開催数	参加者数	登録日
サロン萩4	東大分校区公民館	11	16	H17.6.1
牧3丁目ふれあいサロン	牧3丁目公民館	12	26	H22.3.23
サロン萩1	東大分校区公民館	11	11	H22.5.31
サロン萩2	東大分校区公民館	11	15	H22.5.31
萩原3丁目ふれあいサロン	萩原福祉会館	11	43	H22.5.31
ふれあいサロン牧	牧1丁目公民館	9	31	H26.5.31

東大分校区での高齢者サロン参加者の推移

サロン名	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
サロン萩4	11	11	10	15	16
牧3丁目ふれあいサロン	32	33	32	30	26
サロン萩1	10	10	12	13	11
サロン萩2	15	14	14	13	15
萩原3丁目ふれあいサロン	54	55	55	46	43
ふれあいサロン牧	22	26	25	34	31



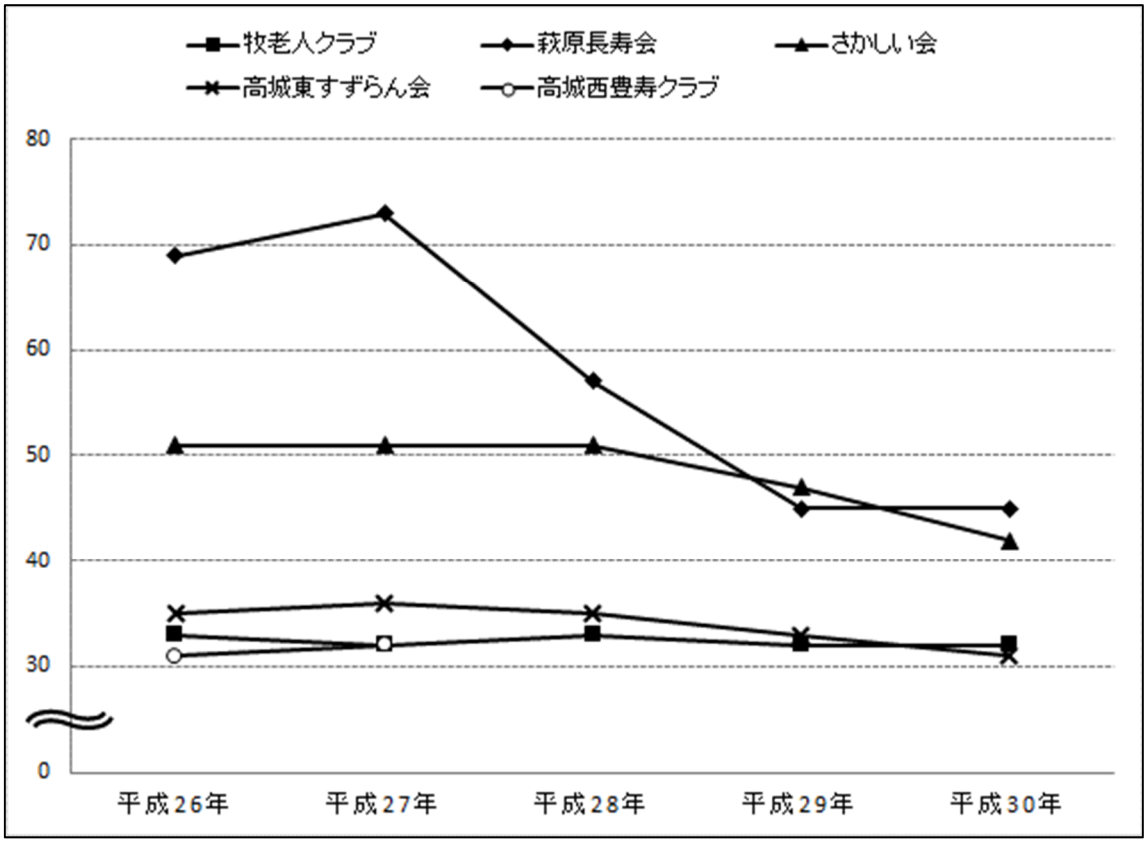
（6）老人会について

東大分校区では、大分市老人クラブ連合会に加入している老人クラブは 5 ヶ所あります。

（平成 30 年 4 月 1 日現在）

老人クラブの参加者推移

	老人クラブ名	自治会	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
1	牧老人クラブ	牧1丁目	33	32	33	32	32
2	萩原長寿会	萩原	69	73	57	45	45
3	さかしい会	牧3丁目	51	51	51	47	42
4	高城東すずらん会	高城東	35	36	35	33	31
5	高城西豊寿クラブ	高城	31	32	－	－	－



第3章　ふれあい対象者に関する実態調査

本計画を策定するにあたり、東大分校区内のふれあい対象者の生活の実態や地域福祉に関する意識を把握するため、実態調査を実施しました。

実施期間	平成 30 年 7 月 15 日～平成 30 年 8 月 31 日
対　象	東大分校区内のふれあい対象者　277 名 （平成 30 年 7 月 1 日現在の対象者数）
回答者数	233 名
回答率	84%
調査協力者	東大分校区民生委員の方々

大分市社会福祉協議会では、みんなが主役のささえあいプラン（大分市地域福祉計画、大分市地域福祉活動計画）に基づいて、地域福祉の推進に取り組んでいますが、その基本目標として、「地域の繋がりをつくる」「地域福祉の担い手をつくる」「課題を深刻化させない」「安心・安全をつくる」をかかげています。

今回の実態調査では、この 4 つの基本目標に沿って、アンケートの設問を設定いたしました。

基本目標ごとの調査結果の概要は次のとおりです。

基本目標1:「地域のつながりをつくる」に関する設問

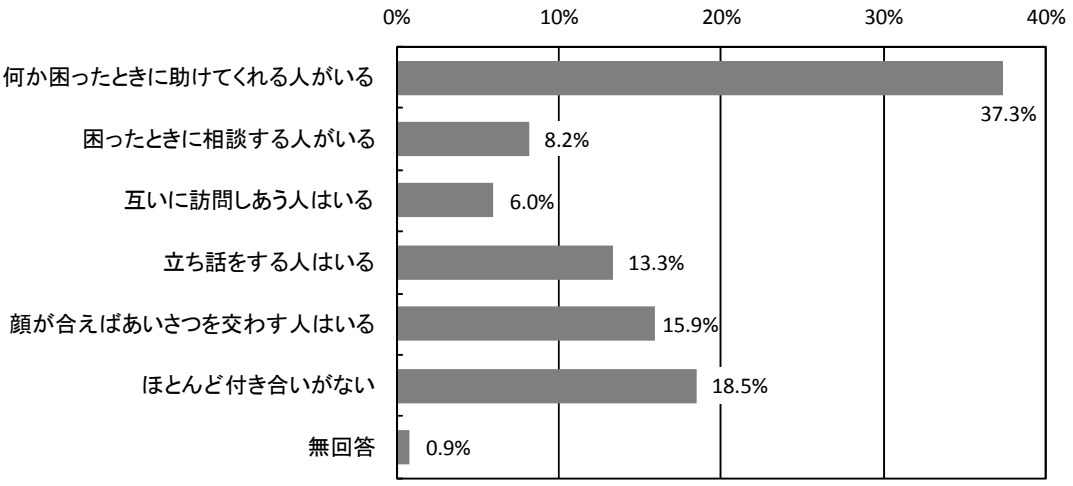
近所づきあいの程度・考え方(問 15・16)

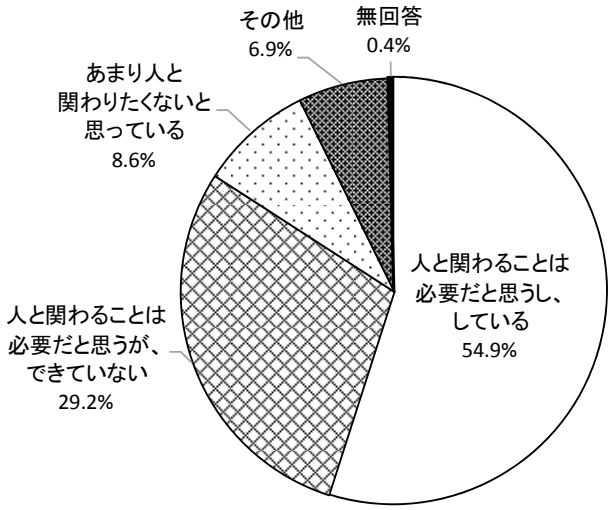
近所づきあいの程度については、「何か困ったときに助けてくれる人がいる」が 37.3%と最も高く、次いで、「顔が合えばあいさつを交わす人はいる」が 15.9%、「立ち話をする人はいる」が 13.3%の順となっている。

なお、「ほとんど付き合いがない」が 18.5%となっている。

近所づきあいについての考え方では、「人と関わることは必要だと思うし、している」が 54.9%で最も高く、次いで「人と関わることは必要だと思うが、できていない」が 29.2%となっている。

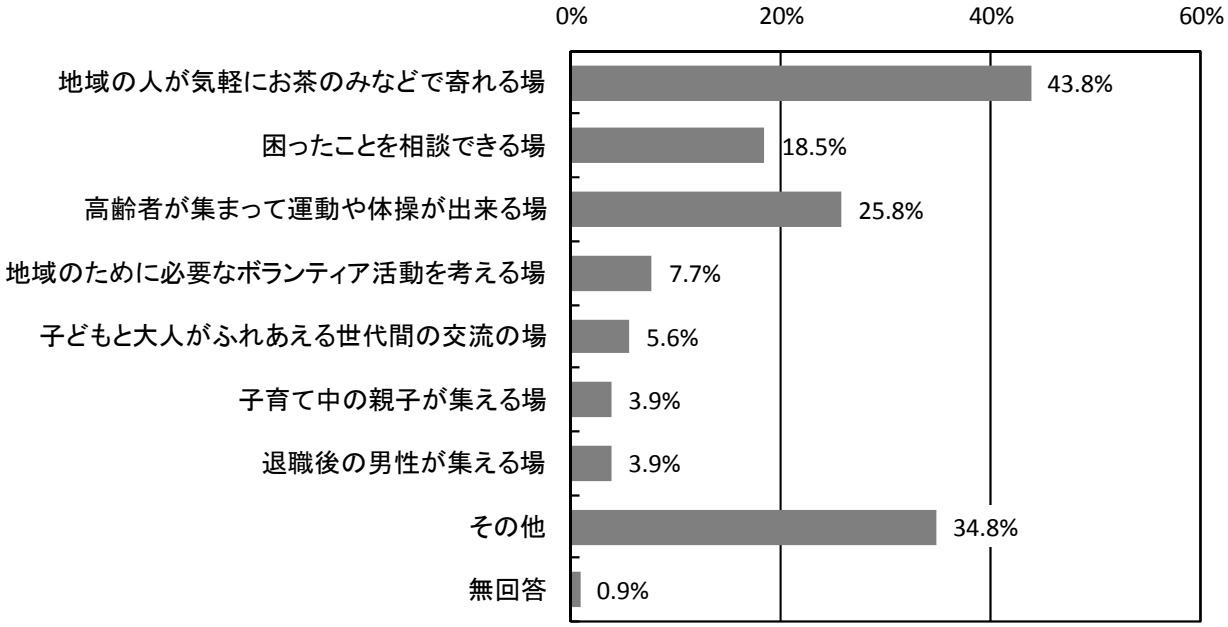
なお、「あまり人と関わりたくないと思っている」は 8.6%となっている。





必要と思われる≪地域住民がつながる場≫（問 17）

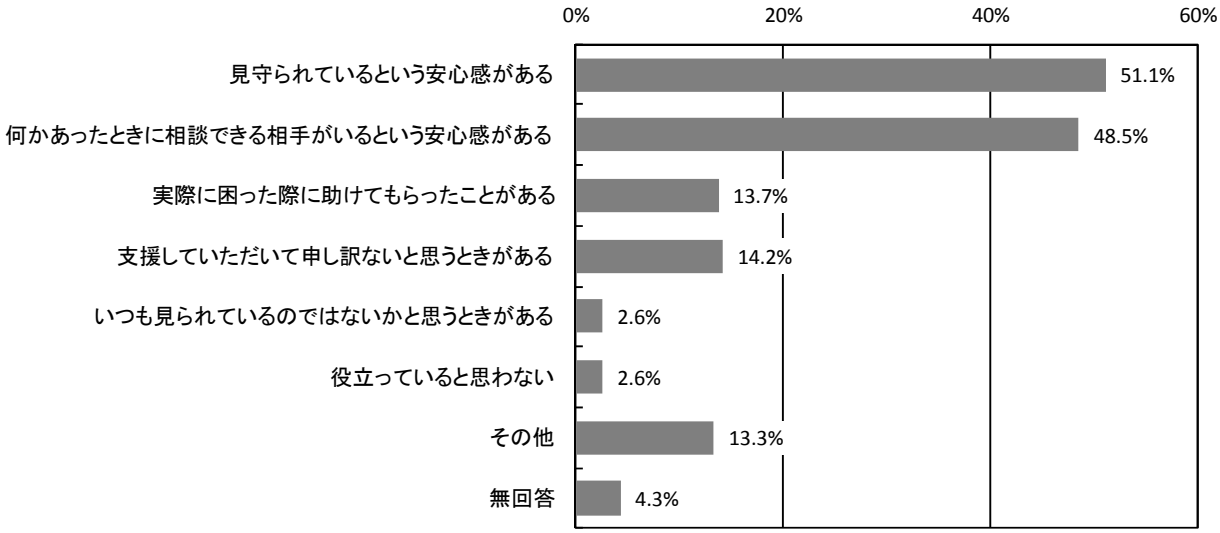
必要と思われる≪地域住民がつながる場≫については、「地域の人が気軽にお茶のみなどで寄れる場」が 43.8%で最も高くなっている。また、「高齢者が集まって運動や体操が出来る場」が 25.8%、「困ったことを相談できる場」が 18.5%、「地域のために必要なボランティア活動を考える場」が 7.7%となっている。



基本目標2:「地域福祉の担い手をつくる」に関する設問

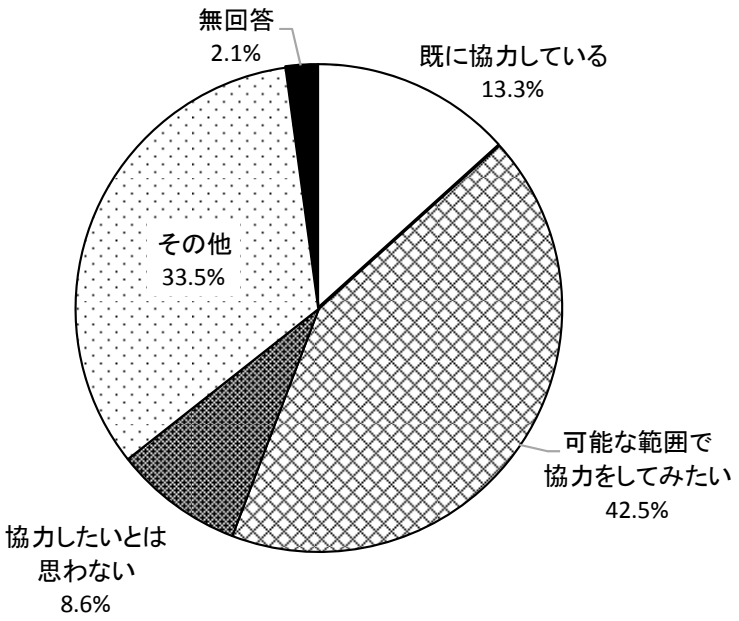
「ふれあい活動」で感じること(問 19)

「ふれあい活動」で感じることについては、「見守られているという安心感がある」が 51.1%で最も高く、次いで「何かあったときに相談できる相手がいるという安心感がある」が 48.5%となっている。



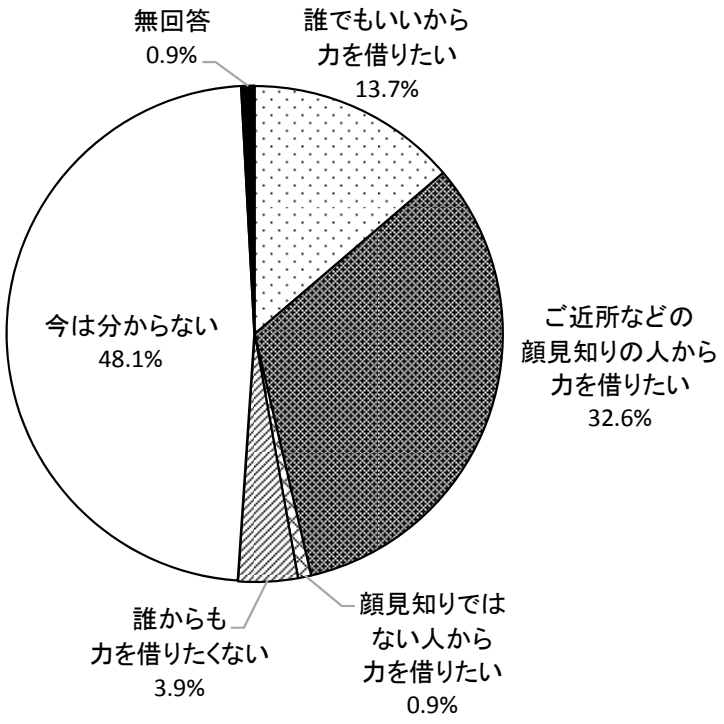
地域の行事や活動に協力しみたいと思うか(問 20)

地域の行事や活動に協力してみたいと思うかについては、「既に協力している」が 13.3%、「可能な範囲で協力をしてみたい」が 42.5%、「協力したいとは思わない」が 8.6%、「その他」が 33.5%となっている。



日常生活のお手伝いに力を借りたいか（問 10）

日常生活のお手伝いに力を借りたいかについては、「誰でもいいから力を借りたい」と答える方よりも、「ご近所などの顔見知りの人から力を借りたい」と答える方の方が多い傾向にある。



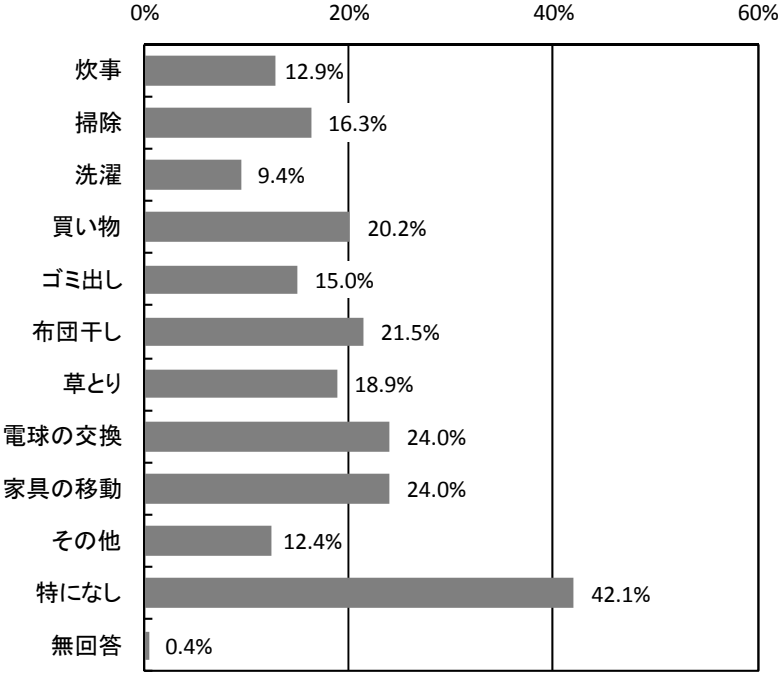
基本目標3:「困りごとを深刻化させない」に関する設問

日常の困りごと(問 7)

日常の困りごとについては、「特になし」が 42.1%で最も高く、次いで「電球の交換」24.0%、「家具の移動」24.0%、「布団干し」21.5%となっている。

(N=233)

	回答数	割合
炊事	30	12.9%
掃除	38	16.3%
洗濯	22	9.4%
買い物	47	20.2%
ゴミ出し	35	15.0%
布団干し	50	21.5%
草とり	44	18.9%
電球の交換	56	24.0%
家具の移動	56	24.0%
その他	29	12.4%
特になし	98	42.1%
無回答	1	0.4%

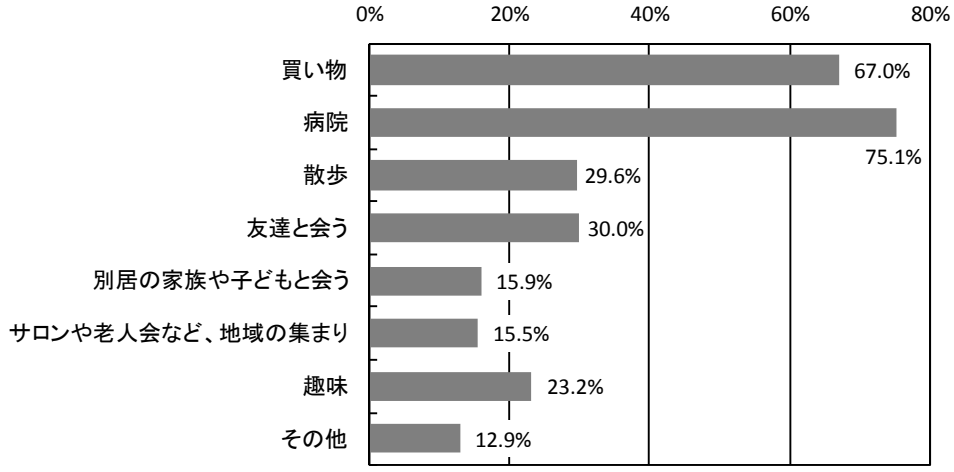


外出の理由(問 11)

外出の理由については、「病院」が 75.1%となっており最も高く、次いで「買い物」67.0%、「友達と会う」30.0%、「散歩」29.6%となっている。

(N=233)

	回答数	割合
買い物	156	67.0%
病院	175	75.1%
散歩	69	29.6%
友達と会う	70	30.0%
別居の家族や子どもと会う	37	15.9%
サロンや老人会など、地域の集まり	36	15.5%
趣味	54	23.2%
その他	30	12.9%

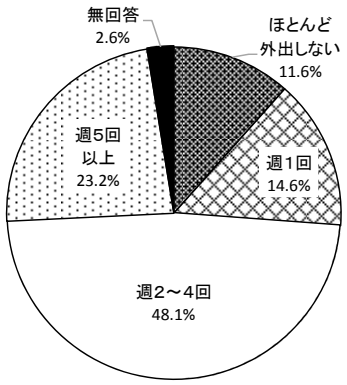


外出の頻度（問 12）

外出の頻度については、「週 2～4 回」が 48.1%と最も高くなっている。次いで「週 5 回以上」が 23.2%と高く、「週 1 回」は 14.6%、「ほとんど外出しない」は 11.6%となっている。

（N=233）

	回答数	割合
ほとんど外出しない	27	11.6%
週1回	34	14.6%
週2～4回	112	48.1%
週5回以上	54	23.2%
無回答	6	2.6%



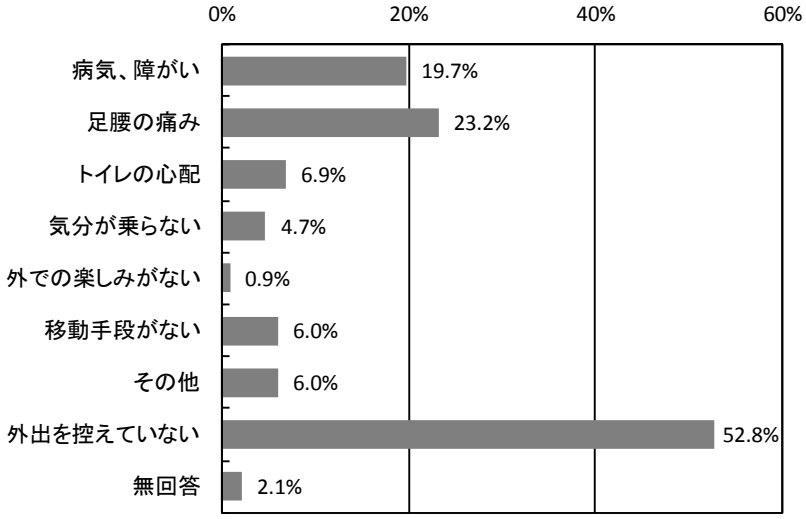
外出を控える理由（問 13）

外出を控える理由では、「足腰の痛み」23.2%が高い割合となっている。ついで、「病気・障がい」は 19.7%、「トイレの心配」は 6.9%となっている。

なお、「外出を控えていない」については 52.8%となっている。

（N=233）

	回答数	割合
病気、障がい	46	19.7%
足腰の痛み	54	23.2%
トイレの心配	16	6.9%
気分が乗らない	11	4.7%
外での楽しみがない	2	0.9%
移動手段がない	14	6.0%
その他	14	6.0%
外出を控えていない	123	52.8%
無回答	5	2.1%

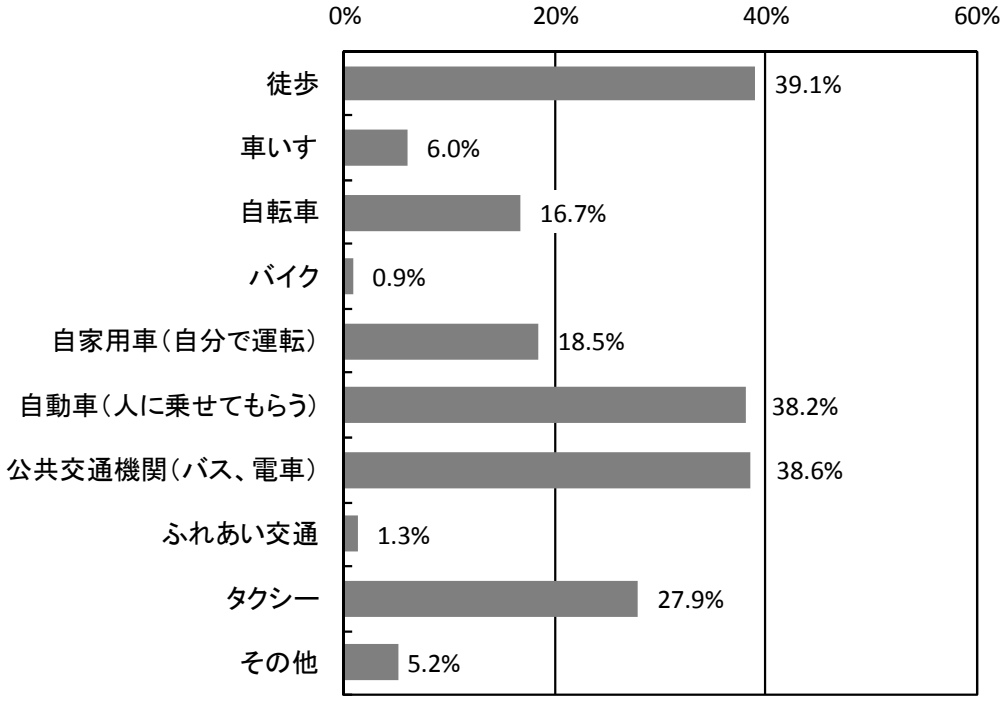


主な外出の手段（問 14）

主な外出の手段については、「徒歩」が 39.1%で最も高く、次いで「公共交通機関（バス、電車）」38.6%、「自家用車（人に乗せてもらう）」38.2%、「タクシー」27.9%の順となっている。

（N=233）

	回答数	割合
徒歩	91	39.1%
車いす	14	6.0%
自転車	39	16.7%
バイク	2	0.9%
自家用車（自分で運転）	43	18.5%
自動車（人に乗せてもらう）	89	38.2%
公共交通機関（バス、電車）	90	38.6%
ふれあい交通	3	1.3%
タクシー	65	27.9%
その他	12	5.2%

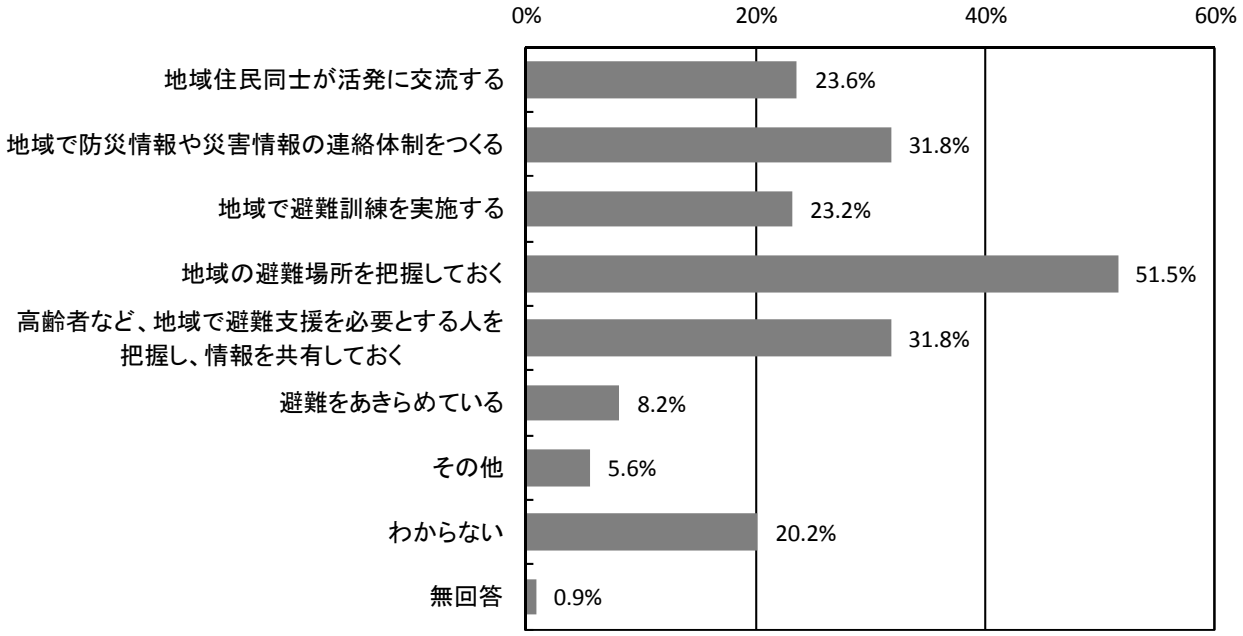


基本目標4:「安心・安全をつくる」に関する設問

災害に備えた地域ぐるみの準備とは(問 18)

災害に備えた地域ぐるみの準備については、「地域の避難場所を把握しておく」が 51.5%で最も高く、次いで「高齢者など、地域で避難支援を必要とする人を把握し、情報を共有しておく」31.8%、「地域で防災情報や災害情報の連絡体制をつくる」31.8%、「地域住民同士が活発に交流する」23.6%の順となっている。

なお、「避難をあきらめている」は 8.2%、「わからない」は 20.2%となっている。



第4章　東大分校区の活動計画と策定までのプロセス

（1）目標と具体的取り組み

実態調査や話し合いから出た意見をふまえ、以下の取り組みを考えました。

東大分校区社協の目標１

情報発信の充実を図ろう！

これまでの広報活動としては、校区社協行事のご案内をしているだけにとどまっていました。今回、東大分校区社協の地域福祉活動計画を策定するにあたり、一番重要なことは「情報の発信」ということがあらためて認識として強まりました。東大分校区社協の実態や活動状況をはじめ、校区住民の皆さんに協力していただきたい内容などの情報発信を、適時行うようにします。

活動の方向性（具体的取り組み）

- 「東大分校区社協だより（仮称）」を新たに発行する。
- 「ふれあい活動（小地域福祉ネットワーク活動）」の周知啓発を行う。
- 東大分校区社協の活動に協力してくれるボランティアの募集を行う。

策定までのプロセス

≪「話し合い」の場で出た意見≫

～現状・課題～

- 東大分校区社協の存在を知らない住民が多すぎる。
- 「広報紙」などの情報発信が必要だとは思うが近年出来ていない。
- 地域で活動している側としても情報が欲しい。
- 自治会ごとではなく、校区域で広く人材を募集することが出来ないか。
- 「情報紙」の作成を出来る人(パソコン等)は多いと思うが、把握できていない。

～提案・対応策～

- 公民館の活用という視点で、チラシの作成や印刷等にも協力できると思う。
- ふれあい協力者も、活動事例の提供等協力的な人はいるのではないだろうか。
- ふれあい協力者などに協力してもらって情報提供をしていく必要があるのではないか。
- 親睦会や敬老会等に協力してくれる担い手はいるが、他の校区社協行事に参加や協力してもらえるようなボランティアの募集ができなだろうか。
- 今まで「社協だより」が発行できなかったのは、毎年同じような記事になるから。今回の話し合いを通して、サロン活動などを大きな文字で提供すれば良い情報提供になるのでは。
- 校区社協の事業は毎年同じ事業になるが、それを掘り下げて公表していければよいのでは。

東大分校区社協の目標２

「ふれあいサロン」の立ち上げを支援しよう！

地域住民が、「つながる場」「活動に参加（協力）する場」「困りごとの送受信の場」として「ふれあいサロン活動」は最適なことがあらためて共有できました。しかし、一部の実践者だけでは「参加者の募集」「運営」「活動内容」等々の課題が生じて立ち上げを断念している実態も把握できました。自治会や民生委員にだけ任せることなく、東大分校区社協としても積極的に支援を行っていきます。

活動の方向性（具体的取り組み）

●サロン運営の為の支援（補助金等）を検討する。
●ふれあいサロン運営に協力してくれる人材を募る。
●サロン立ち上げの為の説明会等を開催する。
●多世代交流の場づくりについての検討も行う。

策定までのプロセス

≪「話し合い」の場で出た意見≫

～現状・課題～

・サロン会場が同じ自治会内でも遠くて来れない人もいる。
・東大分校区のサロンの設置数としては現在４つ。高城方面にはない。
・人材不足（後継者）に尽きる。
・自治会長としては伝達事項を伝えるなどのバックアップならできる。…協力してくれる人材の確保が課題。
・東大分校区に１つの集いの場の検討も、今後の検討課題。

～提案・対応策～

・行政の制度に合わせたサロンでなく、やりたいことのできる“場”を目指してもいいのかもしれないのでは。
・「子ども食堂」というのを最近よく聞くが、大分市内にも 50 か所ぐらいあるらしいと聞いて、東大分はなにもしていないのかもと感じた。
・高齢者のサロンも大事だが、誰でも集まれる場も必要では。
・参加者の定期的な募集も必要では。うちも時々回覧を月に２回出すが、転居してきた人からの問い合わせなどもある。こういう風によそから入ってきた人への働きかけもいるのかな。

東大分校区社協の目標３

ふれあいサロンどうしの「つながりの場」をつくろう！

現在活動中のふれあいサロンにも、サロン運営の担い手の悩みをはじめ様々な課題が生じていることがわかりました。サロン運営という同じ視点をもった「担い手どうし」の集いの場の開催をはじめ、東大分校区を「地域」とした「つながり」を構築していきたいと思います。

活動の方向性（具体的取り組み）

●既存のサロン運営者が情報交換出来る場（顔合わせ）を開催する。
●サロン活動への助言や指導者の確保。
●サロン間交流（参加者どうし）の場づくりを開催する。

策定までのプロセス

≪「話し合い」の場で出た意見≫

～現状・課題～

・最近サロンに来る人が減ってきているように感じる。「魅力が減ってきているという不安がある。既存の人が来なくなる」「新規の人も少しは増えるけど…」等プレッシャーに感じる面もある。
・協力者という形でサロンに関わっているが、男性でサロンに参加したい人がいたが、実際はサロンは女性が多く、運営もプログラムも女性中心になっていて結果的に老人会を勧めた。そういう意味では、サロンは誰でも来れるプログラムにしないといけないのでは。
・足が悪くて来れないという人もおり、そういう人の立場にたって、どういう風にサロンを進めていくべきか考えた方がよいのでは。

～提案・対応策～

・良い話と苦労話を織り交ぜて共有する「横の連絡会」のようなものを作ってはどうか。
・補助金の関係、運営についても違う点がたくさんあると思うが、こうした点についても共有をしていくことが大切では。

東大分校区社協の目標４

日常生活を支える「ボランティア組織」についての検討に協力します！

高齢社会の中で住民間の希薄化が顕著となっている現在、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯及び体の不自由な方々等、困りごとを抱えているが、自身や家族だけの力では解決できない日常生活上の軽微な困りごとを抱えている現状は、ここ東大分校区も例外ではありません。

東大分校区で活躍している様々な支援団体等と連携し、助け合いの仕組みづくりの検討に協力していきます。

活動の方向性（具体的取り組み）

●東大分校区まちづくり協議会での検討に協力する。

●東大分校区社協としての役割を検討する。

策定までのプロセス

≪「話し合い」の場で出た意見≫

～現状・課題～

・校区内で支援者になる方は色々な役を掛け持っている。

・東大分校区の「ボランティアセンター」みたいなものを設けて、登録制でお願いできる組織作りが必要では。

・ここ東大分だけではなく、多くの地域がそうして困っているように思う。

・人間が少なくなってきている中、世話役は重複していくのが現実。

～提案・対応策～

・一つの活動に絞るのではなく、横断的に校区のボランティアとして募集することで、まず登録してもらってその人に会った事業を紹介する。そして次の事業を紹介する。という様な仕組みを構築する必要がある。

・東大分校区社協だけでは構成団体としての実態がない。まちづくり協議会の組織が、東大分校区におけるもっとも幅の広い地域活動ができることから、まちづくり協議会が進めている「ボランティア組織」に参画し、仕組みづくりに協力してはどうか。

（2）計画策定メンバー

	団体名・所属	役職	氏名
1	東大分校区社会福祉協議会	会長	松岡　勝代
2	東大分校区社会福祉協議会	副会長（自治協会長） （まちづくり協議会会長）	豊田　和成
3	東大分校区社会福祉協議会	事務局長（民児協会長）	利光　明美
4	東大分校区社会福祉協議会	地域福祉推進委員	首藤　三千代
5	東大分校区社会福祉協議会	地域福祉推進委員	竹内　秀美
6	東大分校区自治委員連絡協議会	副会長（牧１丁目自治委員）	田中　智根
7	東大分校区民生委員児童委員協議会	副会長（高城 17～27 丁目担当）	工藤　稔
8	東大分校区民生委員児童委員協議会	萩原１丁目 11～19 地区担当	永松　文代
9	東大分校区民生委員児童委員協議会	南萩原地区担当	芦原　尚子
10	東大分校区民生委員児童委員協議会	牧１丁目地区担当	中島　眞一
11	東大分校区体育協会	副会長 （まちづくり協議会事務局）	吉田　和光
12	ふれあいサロン	萩原 3 丁目ふれあいサロン代表	河野　廣子
13	健康推進委員	高城地区担当	東　惠子
14	東大分校区公民館	主事	矢野　惠子

(3)計画策定経過

開催日	内容
４月１４日（土）10：30	事業実施説明
５月２１日（月）10：00	総会にて地域福祉活動計画策定の承認
６月　１日（金）～ ６月３０日（土）	調査対象者整備活動
７月　６日（金）13：30	東大分校区社協事務局協議
７月１２日（木）10：00	〃
７月１４日（土）13：00	実態調査活動説明会
７月１５日（日）～ ８月３１日（金）	調査実施期間
８月３１日（金）13：30	東大分校区社協事務局協議
１０月２５日（木）15：30	〃
１１月１４日（水）13：30	〃
１１月２２日（木）10：00	〃
１２月　８日（土）13：00	実態調査結果報告（東大分校区民児協定例会）
１２月２２日（土）10：00	第１回話し合い（実態調査結果報告等）
２月　１日（金）15：30	東大分校区社協事務局協議
２月１０日（水）10：00	第２回話し合い（地域課題の把握、課題出し等）
３月　２日（土）10：00	東大分校区社協事務局協議
３月　５日（火）10：00	第３回話し合い（活動目標案の策定）
３月２８日（木）10：00	東大分校区社協事務局協議（最終まとめ）

お忙しい中、ご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。

今後とも、東大分校区の地域福祉の発展のために、ご協力いただきますよう

お願い致します。

第5章　資料編

（1）他の活動紹介

地域の活性化を応援する大分市の補助事業

高齢者ファミリーサポートセンター事業	
実施主体	大分市（長寿福祉課　権利擁護担当班）
活動内容	高齢者の在宅支援を提供する20歳以上の市民(援助会員)と、在宅支援を依頼する65歳以上の高齢者(依頼会員)からなる会員同士により、食事の準備や部屋の掃除、ごみの搬出等による有償ボランティアを行います。
対象地域	市内全域
対象者	65歳以上の高齢者
利用方法	ファミリーサポートセンターへ事前連絡
利用料	①平日（9：00～17：00）　1時間600円 ②休日及び上記時間帯以外の平日　1時間700円
利用実績	2,792件（平成28年度）

地域ふれあいサロン事業	
実施主体	大分市（運営主体：大分市社会福祉協議会）
活動内容	レクリエーション、体操、茶話会、季節の行事など
対象地域	市内全域
対象者	原則、該当の自治会にお住まいの概ね60歳以上の方。 ボランティアとして活動に協力する方については年齢を問わない。
利用方法	各サロンへ直接申し込み
利用料	実費のみ（各サロンによる）
利用実績	28年度　12,802人（登録者数）

市民健康づくり運動教室	
実施主体	大分市（運営主体：大分市民健康づくり運動指導者協議会）
活動内容	健康づくり運動指導者協議会において養成された指導者が、健康づくりのための運動教室を各地区の公民館等で行う。
対象地域	市内全域
対象者	誰でも良い（年齢制限なし）
利用方法	各教室へ直接申し込み
利用料	実費のみ（各教室による）
利用実績	28年度　171カ所（開催ヵ所数）

認知症カフェ運営事業	
実施主体	大分市（長寿福祉課　権利擁護担当班）
活動内容	認知症の方とその家族、地域住民や専門職など誰もが集い、おしゃべりや情報交換等ができる交流の場
対象地域	市内全域
対象者	限定なし
利用方法	各カフェに直接申し込み
利用料	実費（カフェによる）
利用実績	28年度　11カ所（利用者数）

あなたが支える市民活動応援事業	
実施主体	大分市（市民協働推進課）
活動内容	ボランティア団体やNPO法人などの市民活動団体が、自主的に行う公益性の高い事業に対して、市民の届出（応援したい団体）に応じた補助金を交付する。
対象地域	市内全域
対象者	ボランティアグループ、NPO法人、生涯学習指導者団体、地区校区のまちづくりグループなど
利用方法	大分市人材バンクに登録した上で、応援を受けたい事業を市へ届出
利用料	
利用実績	102団体（利用団体数）

他の地域で行われている先進的な取り組み

地域通貨（ご加勢くん）を活用した軽度生活支援事業 【分類：日常的な家事・非日常的な支援】	
実施主体	こうざき校区社会福祉協議会
活動内容	草取り・買い物・ごみ出し・掃除・重い者の運搬など
対象地域	こうざき校区
対象者	こうざき校区の住民
利用方法	サポートセンターに申し込み
利用料	10分間100円　※地域通貨を活用
財源	平成27年実績 ・校（地）区社協事業費　19,800円 ・利用料収入　16,200円
利用実績	平成28年度実績 ・利用者数9名（のべ利用者数64名） ・サービス利用時間　108時間40分

誰でも参加できる居場所「あらたにカフェ」 【分類：外出・交流】	
実施主体	上国東地区社会福祉協議会　あらたに会（大分県国東市）
活動内容	「あらたにカフェ」の開催（火・水・木・金） ・コーヒー１杯100円、その他メニュー有 ・健康体操やレクリエーション　など ・送迎つきの食事会（参加費400円）、買い物ツアーを月2回（第1、3木曜日実施）
対象地域	特に要件なし。　※食事会への送迎は上国東地区の方のみ
対象者	特に要件なし。　※食事会への送迎は上国東地区の方のみ
利用方法	送迎つきの食事会、買い物ツアーには事前申込が必要
利用料	無料
財源	〈初動設備〉 ・大分県里のくらし支援事業 ・大分県サロン活動等交流の場の立ち上げ支援事業（カフェ） ・大分県老人クラブ連合会　元気高齢者地域活動応援事業（食事会等） 〈活動費用〉 ⇒平成29年度は介護保険制度一般介護予防事業の予算の一部を活用
利用実績	平成28年12月～平成29年3月末の実績 カフェ　　53回開催　利用者数796名 食事会　　6回開催　利用者数126名 （参考）地域の人口491名（H28.4.1現在）

施設の地域交流スペースを活用した買い物支援事業 （地域貢献事業の一環） 【分類：外出】	
実施主体	社会福祉法人　龍和会　特別養護老人ホーム　寿志の里
活動内容	・8つの販売業者との協力による買い物の場の提供 ・自ら来られない方への支援（無料送迎）
対象地域	高江、住床、米良　※上記3地区以外から2名が利用
対象者	限定なし
利用方法	送迎のみ申し込みが必要
利用料	無料　※買い物は有料
財源	法人の施設、公用車、職員を活用した取り組みのため、ガソリン代程度の経費のみかかっている。
利用実績	平成28年度実績 ・利用者数 981名（うち送迎利用者数 260人） ・年間約160,000円の売り上げ

富士見が丘お出かけ交通 【分類：外出】	
実施主体	富士見が丘連合自治会
活動内容	外出支援・買い物支援 ・外出支援についてはタクシー会社委託。買い物支援はボランティアが行う。
対象地域	富士見が丘団地内
対象者	虚弱高齢者、外出困難者
利用方法	タクシー会社に予約
利用料	1回 400円
財　　源	市・自治会補助金（廃品回収の収益金） 年間 約200,000円 ・タクシー会社への事務手数料118,800円（9,900×12月） ・利用１回あたりのタクシー会社への負担金640円 （個人負担400円、自治会補助240円）
利用実績	年間 約180回

暮らしのサポートセンター　久住「りんどう」の取り組み 【分類：日常的な家事・外出・交流・非日常的な支援】	
実施主体	・暮らしのサポートセンター　久住「りんどう」 ・竹田市地域包括支援センター
活動内容	・誰でもでも参加できる「寄り合いの場」 ・調理・清掃・ごみ出し・買物支援・外出支援・など
対象地域	久住町及びその近隣地域
対象者	・寄り合いの場は、特に限定なし。 ・生活支援サービスは会員加入者（年会費1,000円）
利用方法	電話で申し込み
利用料	1時間800円（30分400円）
財　　源	平成27年度 ・収入4,703,166円（市補助金、年会費、利用料等） ・支出2,847,530円
利用実績	平成28年度実績 ・会員数116名　支援回数197回

地域社会で支える外出支援活動 【分類：外出】	
実施主体	NPO法人　中原たすけあい（佐賀県）
活動内容	福祉有償運送と無償運送（もやい号）による外出支援
対象地域	①福祉有償運送（365日運行） 起点・終点が鳥栖市・みやき町であれば制限無し ②無償運送「もやい号」（毎週火・木・土AM9時～PM4時） 中原校区内
対象者	①福祉有償運送：鳥栖市、みやき町、上峰町の外出困難な会員 ②無償運送（もやい号）：中原校区内で外出に困っている会員
利用方法	申し込み
利用料	①福祉有償運送：1時間700円、1km50円 ※タクシーの約2分の1の金額 ②無償運送（もやい号）：ガソリン代実費（1回100円）
財　　源	（平成27年度） 福祉有償運送 / 無償運送（もやい号） / 合計 収入：2,002千円 / 278千円 / 2,280千円 支出：3,600千円 / 799千円 / 4,399千円 差引：-1,598千円 / -521千円 / -4,399千円 ※収支不足額は寄付金、他事業収益で補てん
利用実績	平成27年度実績 ①福祉有償運送：利用者数55人（延べ利用者数2,177人） ②無償運送（もやい号）：利用者数41人 （延べ利用者数2,788人）

(2)実態調査票

あなたご自身についておうかがいします。

【問１】あなたの性別を教えてください。

１）男性　　２）女性

【問２】あなたの年齢を教えてください。

１）50 歳未満　　２）50～59 歳　　３）60～64 歳　　４）65～69 歳
５）70～74 歳　　６）75～79 歳　　７）80～84 歳　　８）85 歳以上

【問３】居住形態を教えてください。

１）一軒家（一戸建て）・持ち家　　２）一軒家（一戸建て）・借家
３）集合住宅・持ち家　　４）集合住宅・借家　　５）公営住宅
６）その他（　　）

【問４】家族構成を教えてください。

１）ひとり暮らし　　２）夫婦のみ　　３）子どもと同居　　４）兄弟・親族と同居
５）その他（　　）

【問５】今のお住まいに住んでからの居住年数を教えてください。

１）１年未満　　２）１年以上～３年未満　　３）３年以上～５年未満
４）５年以上～10 年未満　　５）１０年以上～20 年未満　　６）２０年以上

【問６】あなたの健康状態はどうですか。（○はいくつでも）

１）健康である　　２）通院している　　３）通院していないが、体調がすぐれない
４）歩くのが不自由　　５）寝たきり状態
６）その他（　　）

日常の生活についてお尋ねします。

【問７】日常生活のなかで、困ったことがあれば教えてください。（○はいくつでも）

１）炊事　　２）掃除　　３）洗濯　　４）買い物　　５）ゴミ出し
６）布団干し　　７）草とり　　８）電球の交換　　９）家具の移動
10）その他（　　）
11）特になし

【問８】その他に、困ったことがあれば教えてください。（○はいくつでも）

１）医療や介護のこと　　２）経済的なこと　　３）地域の人とのつきあい
４）その他（　　）　　５）困っていることはない

【問９】困った時に相談する相手はいますか。（○はいくつでも）

１）家族・親族　　２）友人・知人　　３）自治会長　　４）民生委員
５）ふれあい協力者　　６）専門家（医師、地域包括支援センターなど）
７）その他（　　）　　８）相談できる人はいない

【問１０】困りごとについて、自分で出来なくなったときに、ご近所の人などからお手伝いに力を借りたいと思いますか。

１）誰でもいいから力を借りたい
２）ご近所などの顔見知りの人から力を借りたい
３）顔見知りではない人から力を借りたい
４）誰からも力を借りたくない
５）今は分からない

日常的な外出についてお尋ねします

【問１１】どのような理由で外にお出かけになることが多いですか。（○はいくつでも）

１）買い物　２）病院　３）散歩　４）友達と会う　５）別居の家族や子どもと会う
６）サロンや老人会など、地域の集まり　７）趣味　８）その他（　　）

【問１２】お出かけの頻度はどの位ですか。

１）ほとんど外出しない　２）週１回　３）週２～４回　４）週５回以上

【問１３】以下の理由のため、外出を控えることがあれば教えてください。（○はいくつでも）

１）病気、障がい　２）足腰の痛み　３）トイレの心配　４）気分が乗らない
５）外での楽しみがない　６）移動手段がない　７）その他（　　）
８）外出を控えていない

【問１４】外出する際の主な移動手段は何ですか。（○はいくつでも）

１）徒歩　２）車いす　３）自転車　４）バイク
５）自家用車（自分で運転）　６）自動車（人に乗せてもらう）
７）公共交通機関（バス、電車）　８）ふれあい交通　９）タクシー
10）その他（　　）

ご近所付き合いについてお尋ねします。

【問１５】あなたは、日頃、一番親しいご近所の人とどの程度の付き合いをしていますか。

１）何か困ったときに助けてくれる人がいる　２）困ったときに相談する人がいる
３）互いに訪問しあう人はいる　４）立ち話をする人はいる
５）顔が合えばあいさつを交わす人はいる　６）ほとんど付き合いがない

【問１６】日常でのご近所付き合いについて、どのようにお考えですか。

１）人と関わることは必要だと思うし、している
２）人と関わることは必要だと思うが、できていない
３）あまり人と関わりたくないと思っている
４）その他（　　）

【問１７】あなたの住んでいる地域にこれから必要だと思われる「住民同士がつながる場」とはどんな場だと思いますか。（○はいくつでも）

１）地域の人が気軽にお茶のみなどで寄れる場　２）困ったことを相談できる場
３）高齢者が集まって運動や体操が出来る場
４）地域のために必要なボランティア活動を考える場
５）子どもと大人がふれあえる世代間の交流の場
６）子育て中の親子が集える場　７）退職後の男性が集える場
８）その他（　　）

【問１８】災害時に地域住民が助け合って避難するためには、日頃から地域ぐるみでどのような準備をすればよいと思いますか。（○はいくつでも）

１）地域住民同士が活発に交流する
２）地域で防災情報や災害情報の連絡体制をつくる
３）地域で避難訓練を実施する
４）地域の避難場所を把握しておく
５）高齢者など、地域で避難支援を必要とする人を把握し、情報を共有しておく
６）避難をあきらめている
７）その他（　　）
８）わからない

住民同士の「ふれあい活動（見守り、声かけ活動）」についてお尋ねします。

【問１９】「ふれあい活動（見守り、声かけ活動）」で、感じることを教えてください。（○はいくつでも）

１）見守られているという安心感がある
２）何かあったときに相談できる相手がいるという安心感がある
３）実際に困った際に助けてもらったことがある
４）支援していただいて申し訳ないと思うときがある
５）いつも見られているのではないかと思うときがある
６）役立っていると思わない
７）その他（　　）

【問２０】あなたは地域の行事や活動に協力してみたいと思いますか。

１）既に協力している
２）可能な範囲で協力をしてみたい
３）協力したいとは思わない
４）その他（　　）

【問２１】最後に、感想や意見があればご自由にお書きください。

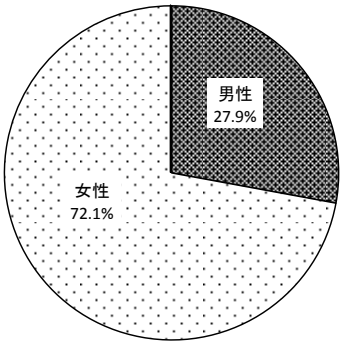
調査へご協力いただき、ありがとうございました。

（3）実態調査集計結果

問 1	あなたの性別を教えてください。

（N=233）

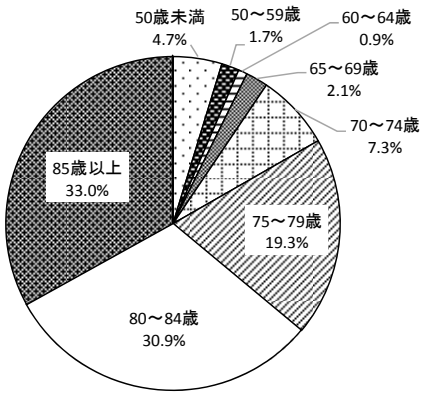
	回答数	割合
男性	65	27.9%
女性	168	72.1%



問 2	あなたの年齢を教えてください。

（N=233）

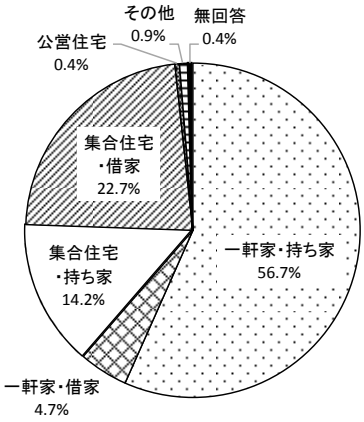
	回答数	割合
50歳未満	11	4.7%
50～59歳	4	1.7%
60～64歳	2	0.9%
65～69歳	5	2.1%
70～74歳	17	7.3%
75～79歳	45	19.3%
80～84歳	72	30.9%
85歳以上	77	33.0%



問 3	居住形態を教えてください。

（N=233）

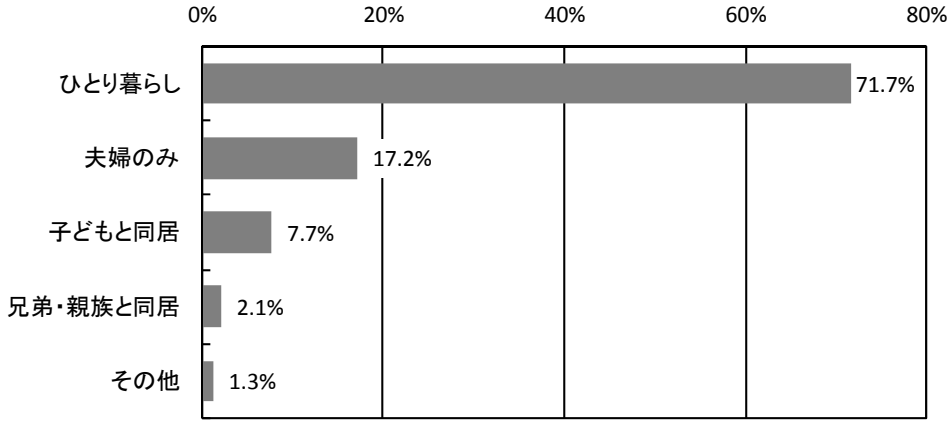
	回答数	割合
一軒家・持ち家	132	56.7%
一軒家・借家	11	4.7%
集合住宅・持ち家	33	14.2%
集合住宅・借家	53	22.7%
公営住宅	1	0.4%
その他	2	0.9%
無回答	1	0.4%



問 4	家族構成を教えてください。

（N=233）

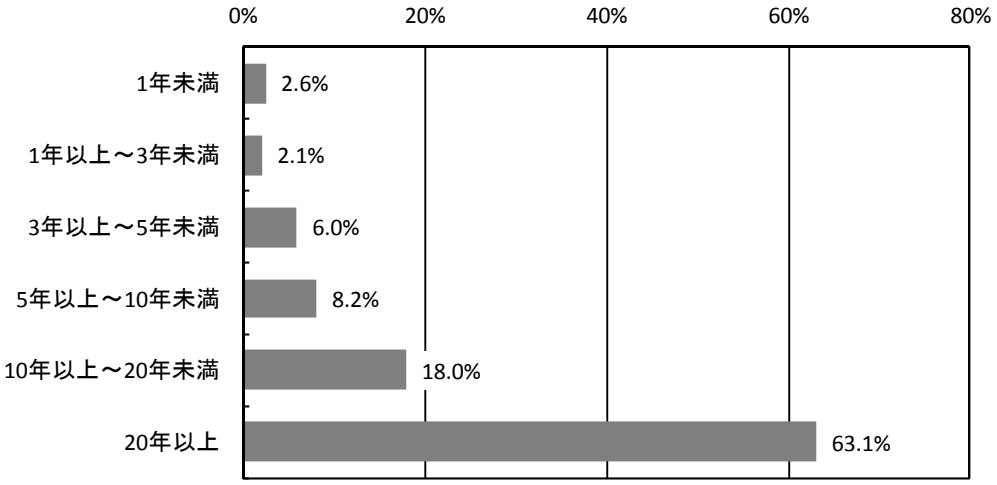
	回答数	割合
ひとり暮らし	167	71.7%
夫婦のみ	40	17.2%
子どもと同居	18	7.7%
兄弟・親族と同居	5	2.1%
その他	3	1.3%



問 5	今のお住まいに住んでからの居住年数を教えてください。

（N=233）

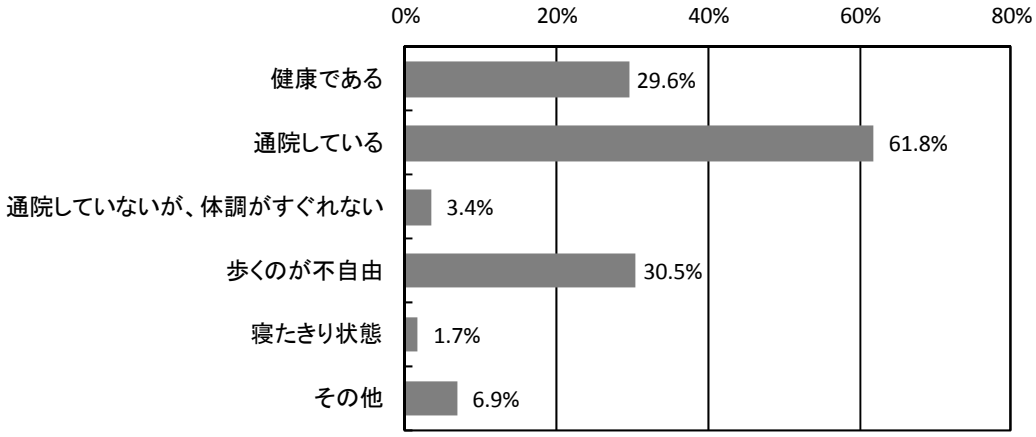
	回答数	割合
1年未満	6	2.6%
1年以上～3年未満	5	2.1%
3年以上～5年未満	14	6.0%
5年以上～10年未満	19	8.2%
10年以上～20年未満	42	18.0%
20年以上	147	63.1%



問 6	あなたの健康状態はどうですか。（〇はいくつでも）

（N=233）

	回答数	割合
健康である	69	29.6%
通院している	144	61.8%
通院していないが、体調がすぐれない	8	3.4%
歩くのが不自由	71	30.5%
寝たきり状態	4	1.7%
その他	16	6.9%



※複数回答

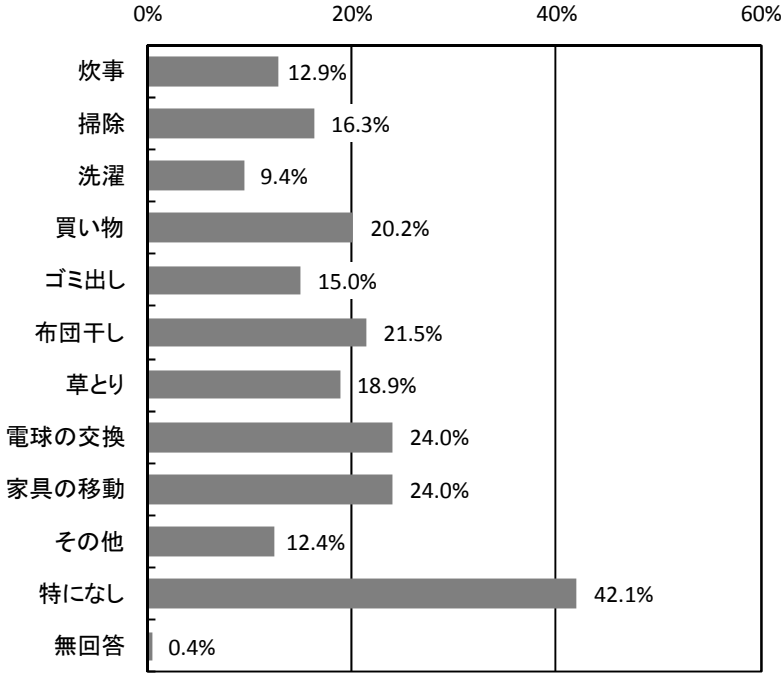
（%）

		サンプル数	健康である	通院している	通院していないが、体調がすぐれない	歩くのが不自由	寝たきり状態	その他
全　体		233	29.6	61.8	3.4	30.5	1.7	6.9
年齢別	50歳未満	11	27.3	36.4	―	45.5	―	18.2
	50～59歳	4	―	75.0	―	50.0	―	―
	60～64歳	2	―	50.0	―	50.0	―	50.0
	65～69歳	5	20.0	60.0	―	20.0	―	20.0
	70～74歳	17	17.6	64.7	11.8	23.5	5.9	5.9
	75～79歳	45	44.4	55.6	8.9	22.2	―	4.4
	80～84歳	72	30.6	63.9	1.4	33.3	1.4	2.8
	85歳以上	77	26.0	66.2	1.3	31.2	2.6	9.1

問 7	日常生活のなかで、困ったことがあれば教えてください。（○はいくつでも）

（N=233）

	回答数	割合
炊事	30	12.9%
掃除	38	16.3%
洗濯	22	9.4%
買い物	47	20.2%
ゴミ出し	35	15.0%
布団干し	50	21.5%
草とり	44	18.9%
電球の交換	56	24.0%
家具の移動	56	24.0%
その他	29	12.4%
特になし	98	42.1%
無回答	1	0.4%



※複数回答

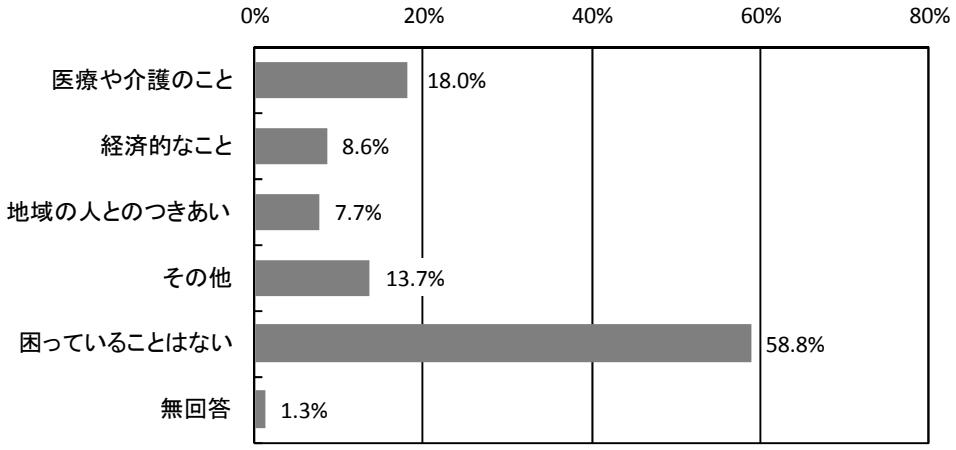
（%）

		サンプル数	炊事	掃除	洗濯	買い物	ゴミ出し	布団干し	草とり	電球の交換	家具の移動	その他	特になし	無回答
全　体		233	12.9	16.3	9.4	20.2	15.0	21.5	18.9	24.0	24.0	12.4	42.1	0.4
年齢別	50歳未満	11	18.2	18.2	18.2	18.2	27.3	27.3	18.2	27.3	27.3	27.3	45.5	－
	50～59歳	4	－	25.0	－	－	－	－	－	－	－	25.0	50.0	－
	60～64歳	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	50.0	50.0	－
	65～69歳	5	－	－	－	20.0	－	－	20.0	20.0	20.0	20.0	40.0	－
	70～74歳	17	17.6	23.5	5.9	11.8	17.6	5.9	11.8	11.8	23.5	23.5	35.3	－
	75～79歳	45	8.9	6.7	2.2	6.7	4.4	11.1	6.7	17.8	15.6	11.1	46.7	－
	80～84歳	72	9.7	16.7	9.7	25.0	15.3	20.8	20.8	25.0	22.2	6.9	43.1	－
	85歳以上	77	18.2	20.8	14.3	27.3	20.8	33.8	27.3	31.2	32.5	11.7	39.0	1.3

問 8	その他に、困ったことがあれば教えてください。（〇はいくつでも）

（N=233）

	回答数	割合
医療や介護のこと	42	18.0%
経済的なこと	20	8.6%
地域の人とのつきあい	18	7.7%
その他	32	13.7%
困っていることはない	137	58.8%
無回答	3	1.3%



※複数回答

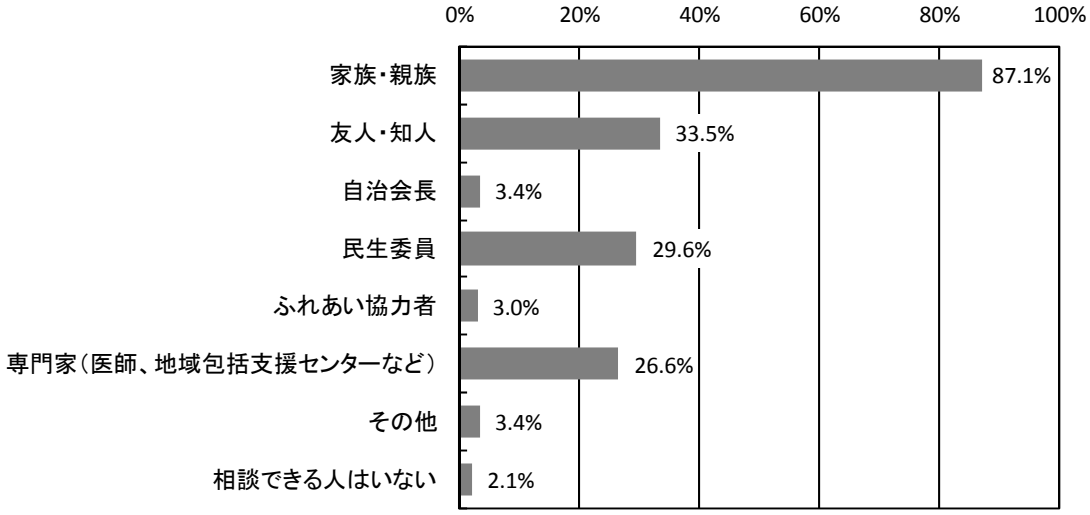
（%）

		サンプル数	医療や介護のこと	経済的なこと	地域の人とのつきあい	その他	困っていることはない	無回答
全　体		233	18.0	8.6	7.7	13.7	58.8	1.3
年齢別	50歳未満	11	36.4	18.2	36.4	9.1	45.5	―
	50～59歳	4	25.0	25.0	―	―	75.0	―
	60～64歳	2	―	―	―	50.0	50.0	―
	65～69歳	5	20.0	―	20.0	―	60.0	―
	70～74歳	17	11.8	17.6	5.9	29.4	41.2	5.9
	75～79歳	45	8.9	8.9	6.7	13.3	66.7	2.2
	80～84歳	72	19.4	8.3	5.6	8.3	61.1	1.4
	85歳以上	77	20.8	5.2	6.5	16.9	57.1	―

問 9	困った時に相談する相手はいますか。（〇はいくつでも）

（N=233）

	回答数	割合
家族・親族	203	87.1%
友人・知人	78	33.5%
自治会長	8	3.4%
民生委員	69	29.6%
ふれあい協力者	7	3.0%
専門家（医師、地域包括支援センターなど）	62	26.6%
その他	8	3.4%
相談できる人はいない	5	2.1%



※複数回答

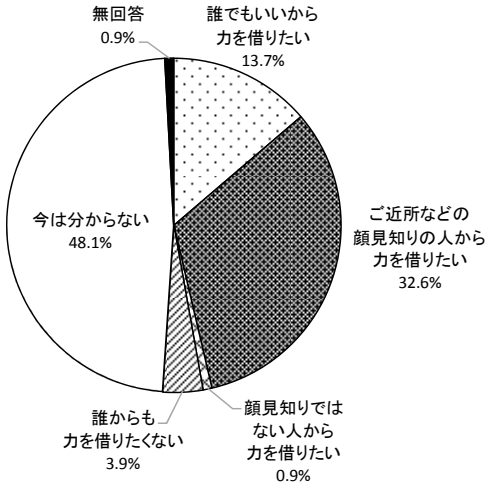
（%）

		サンプル数	家族・親族	友人・知人	自治会長	民生委員	ふれあい協力者	専門家（医師、地域包括支援センターなど）	その他	相談できる人はいない
全体		233	87.1	33.5	3.4	29.6	3.0	26.6	3.4	2.1
性別	男性	65	78.5	27.7	6.2	20.0	3.1	35.4	6.2	1.5
	女性	168	90.5	35.7	2.4	33.3	3.0	23.2	2.4	2.4
年齢別	50歳未満	11	72.7	54.5	9.1	—	—	18.2	36.4	—
	50～59歳	4	50.0	—	—	—	—	25.0	—	25.0
	60～64歳	2	50.0	50.0	—	—	—	50.0	—	—
	65～69歳	5	80.0	40.0	—	—	—	—	—	20.0
	70～74歳	17	94.1	41.2	5.9	17.6	—	17.6	5.9	—
	75～79歳	45	82.2	35.6	—	35.6	2.2	11.1	4.4	4.4
	80～84歳	72	88.9	40.3	1.4	33.3	2.8	22.2	—	1.4
	85歳以上	77	92.2	22.1	6.5	33.8	5.2	44.2	1.3	—

問 10	困りごとについて、自分で出来なくなったときに、ご近所の人などからお手伝いに力を借りたいと思いますか。

（N=233）

	回答数	割合
誰でもいいから力を借りたい	32	13.7%
ご近所などの顔見知りの人から力を借りたい	76	32.6%
顔見知りではない人から力を借りたい	2	0.9%
誰からも力を借りたくない	9	3.9%
今は分からない	112	48.1%
無回答	2	0.9%



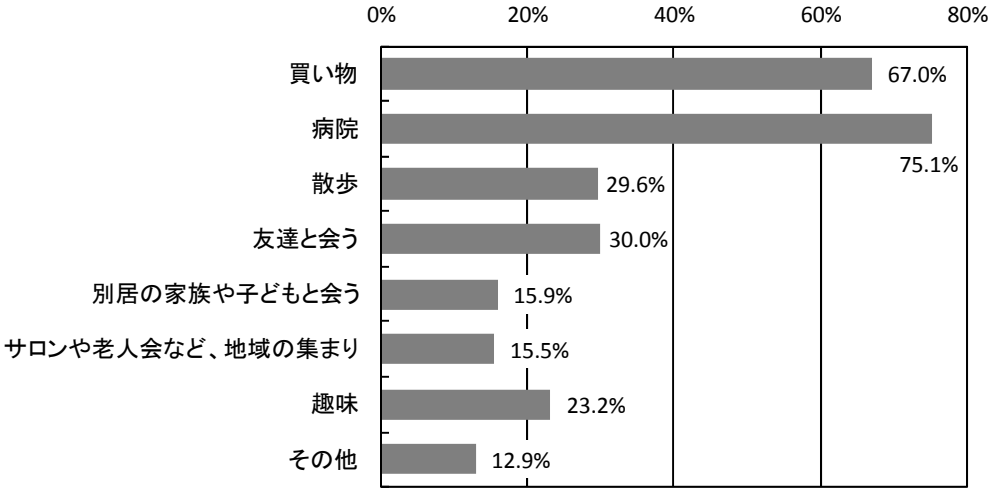
（%）

		サンプル数	誰でもいいから力を借りたい	ご近所などの顔見知りの人から力を借りたい	顔見知りではない人から力を借りたい	誰からも力を借りたくない	今は分からない	無回答
全　体		233	13.7	32.6	0.9	3.9	48.1	0.9
性別	男性	65	20.0	27.7	1.5	4.6	44.6	1.5
	女性	168	11.3	34.5	0.6	3.6	49.4	0.6
年齢別	50歳未満	11	27.3	36.4	－	－	36.4	－
	50～59歳	4	－	25.0	－	25.0	50.0	－
	60～64歳	2	50.0	－	－	－	50.0	－
	65～69歳	5	40.0	－	－	20.0	40.0	－
	70～74歳	17	23.5	11.8	5.9	－	58.8	－
	75～79歳	45	6.7	35.6	－	6.7	51.1	－
	80～84歳	72	15.3	33.3	－	2.8	47.2	1.4
	85歳以上	77	10.4	37.7	1.3	2.6	46.8	1.3

問 11	どのような理由で外にお出かけになることが多いですか。（〇はいくつでも）

（N=233）

	回答数	割合
買い物	156	67.0%
病院	175	75.1%
散歩	69	29.6%
友達と会う	70	30.0%
別居の家族や子どもと会う	37	15.9%
サロンや老人会など、地域の集まり	36	15.5%
趣味	54	23.2%
その他	30	12.9%



※複数回答

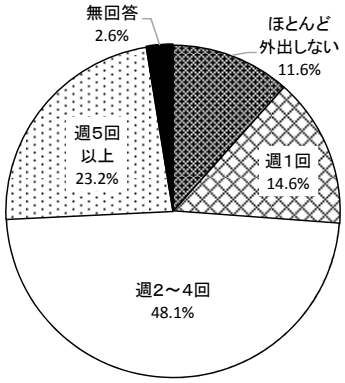
（%）

		サンプル数	買い物	病院	散歩	友達と会う	別居の家族や子どもと会う	サロンや老人会など、地域の集まり	趣味	その他
全　体		233	67.0	75.1	29.6	30.0	15.9	15.5	23.2	12.9
性別	男性	65	60.0	70.8	32.3	18.5	10.8	3.1	30.8	16.9
	女性	168	69.6	76.8	28.6	34.5	17.9	20.2	20.2	11.3
年齢別	50歳未満	11	63.6	54.5	27.3	27.3	－	－	36.4	36.4
	50～59歳	4	75.0	100.0	75.0	－	－	－	－	－
	60～64歳	2	50.0	100.0	－	－	－	－	－	－
	65～69歳	5	20.0	80.0	20.0	－	－	－	20.0	20.0
	70～74歳	17	70.6	82.4	29.4	29.4	11.8	5.9	29.4	11.8
	75～79歳	45	80.0	66.7	35.6	44.4	33.3	24.4	26.7	8.9
	80～84歳	72	76.4	79.2	30.6	37.5	18.1	16.7	23.6	9.7
	85歳以上	77	53.2	75.3	24.7	19.5	9.1	15.6	19.5	15.6

問 12	お出かけの頻度はどの位ですか。

（N=233）

	回答数	割合
ほとんど外出しない	27	11.6%
週1回	34	14.6%
週2～4回	112	48.1%
週5回以上	54	23.2%
無回答	6	2.6%



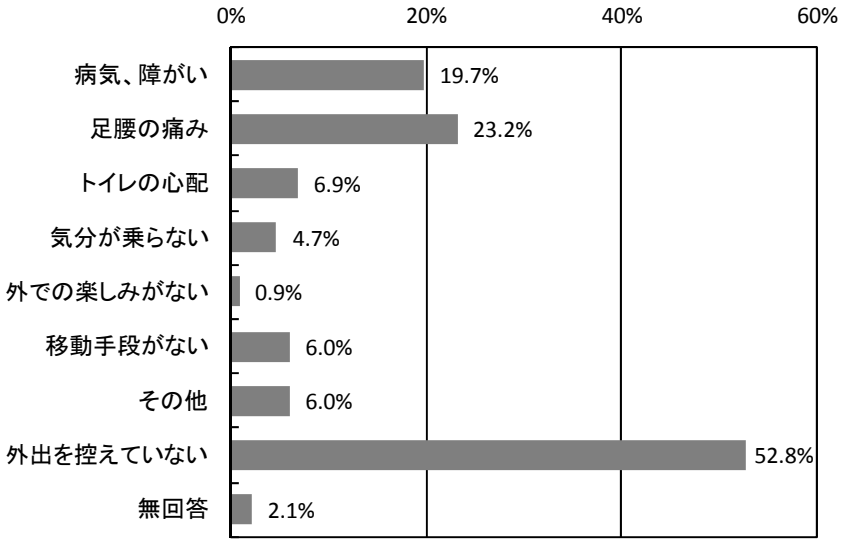
（%）

		サンプル数	ほとんど外出しない	週1回	週2～4回	週5回以上	無回答
全　体		233	11.6	14.6	48.1	23.2	2.6
性別	男性	65	10.8	7.7	41.5	35.4	4.6
	女性	168	11.9	17.3	50.6	18.5	1.8
年齢別	50歳未満	11	－	9.1	9.1	72.7	9.1
	50～59歳	4	50.0	－	25.0	25.0	－
	60～64歳	2	－	50.0	50.0	－	－
	65～69歳	5	40.0	－	60.0	－	－
	70～74歳	17	17.6	5.9	47.1	23.5	5.9
	75～79歳	45	4.4	17.8	42.2	35.6	－
	80～84歳	72	5.6	19.4	54.2	19.4	1.4
	85歳以上	77	18.2	11.7	51.9	14.3	3.9

問 13	以下の理由のため、外出を控えることがあれば教えてください。（〇はいくつでも）

（N=233）

	回答数	割合
病気、障がい	46	19.7%
足腰の痛み	54	23.2%
トイレの心配	16	6.9%
気分が乗らない	11	4.7%
外での楽しみがない	2	0.9%
移動手段がない	14	6.0%
その他	14	6.0%
外出を控えていない	123	52.8%
無回答	5	2.1%



※複数回答

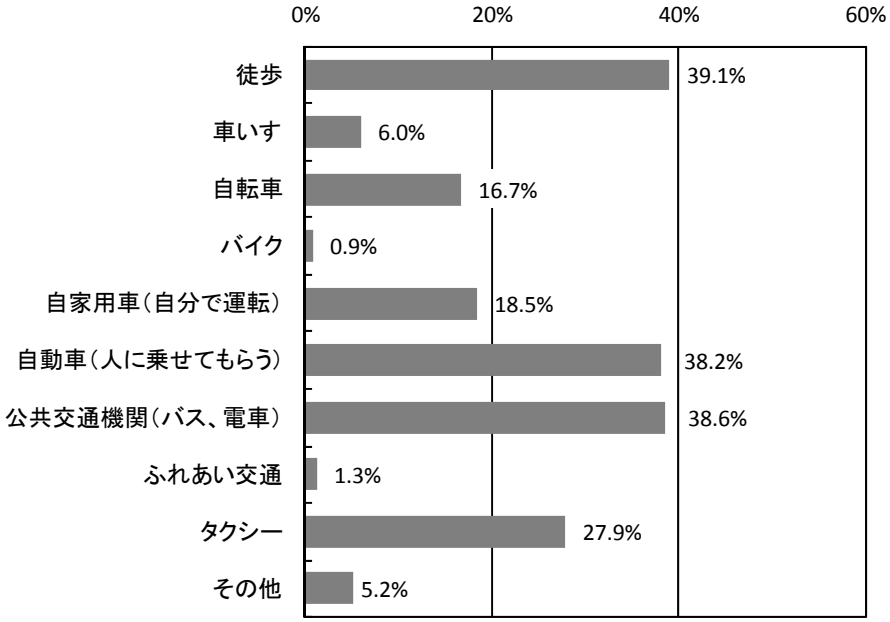
（%）

		サンプル数	病気、障がい	足腰の痛み	トイレの心配	気分が乗らない	外での楽しみがない	移動手段がない	その他	外出を控えていない	無回答
全　体		233	19.7	23.2	6.9	4.7	0.9	6.0	6.0	52.8	2.1
年齢別	50歳未満	11	36.4	9.1	9.1	9.1	—	9.1	9.1	45.5	—
	50～59歳	4	50.0	—	25.0	—	—	—	—	50.0	—
	60～64歳	2	50.0	50.0	50.0	—	—	—	—	50.0	—
	65～69歳	5	40.0	20.0	20.0	—	—	—	20.0	40.0	—
	70～74歳	17	41.2	11.8	5.9	—	—	—	—	58.8	—
	75～79歳	45	13.3	22.2	4.4	11.1	2.2	6.7	8.9	53.3	4.4
	80～84歳	72	13.9	26.4	5.6	4.2	—	8.3	2.8	55.6	2.8
	85歳以上	77	18.2	26.0	6.5	2.6	1.3	5.2	7.8	50.6	1.3

問 14	外出する際の主な移動手段は何ですか。（○はいくつでも）

（N=233）

	回答数	割合
徒歩	91	39.1%
車いす	14	6.0%
自転車	39	16.7%
バイク	2	0.9%
自家用車（自分で運転）	43	18.5%
自動車（人に乗せてもらう）	89	38.2%
公共交通機関（バス、電車）	90	38.6%
ふれあい交通	3	1.3%
タクシー	65	27.9%
その他	12	5.2%



※複数回答

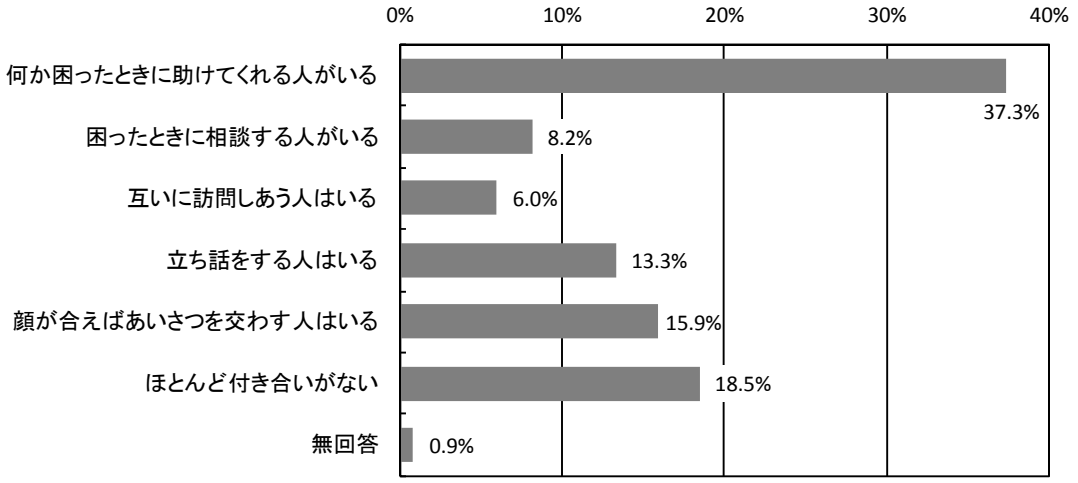
（%）

		サンプル数	徒歩	車いす	自転車	バイク	自家用車（自分で運転）	自動車（人に乗せてもらう）	公共交通機関（バス、電車）	ふれあい交通	タクシー	その他
全　体		233	39.1	6.0	16.7	0.9	18.5	38.2	38.6	1.3	27.9	5.2
年齢別	50歳未満	11	45.5	18.2	―	9.1	27.3	54.5	27.3	―	9.1	18.2
	50～59歳	4	―	―	―	―	50.0	―	25.0	―	50.0	―
	60～64歳	2	50.0	50.0	―	―	―	50.0	50.0	―	―	50.0
	65～69歳	5	―	40.0	―	―	20.0	60.0	―	―	60.0	―
	70～74歳	17	29.4	5.9	23.5	―	41.2	23.5	23.5	―	23.5	5.9
	75～79歳	45	46.7	2.2	28.9	―	24.4	24.4	57.8	―	11.1	4.4
	80～84歳	72	36.1	1.4	20.8	1.4	12.5	41.7	40.3	1.4	36.1	―
	85歳以上	77	42.9	7.8	9.1	―	13.0	44.2	33.8	2.6	31.2	7.8

問 15	あなたは、日頃、一番親しいご近所の人とどの程度の付き合いをしていますか。

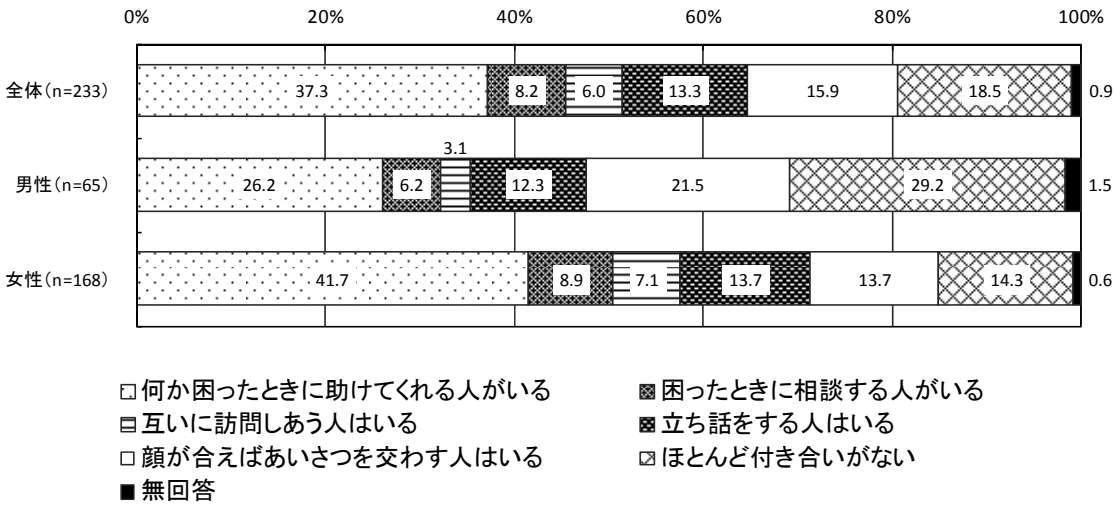
（N=233）

	回答数	割合
何か困ったときに助けてくれる人がいる	87	37.3%
困ったときに相談する人がいる	19	8.2%
互いに訪問しあう人はいる	14	6.0%
立ち話をする人はいる	31	13.3%
顔が合えばあいさつを交わす人はいる	37	15.9%
ほとんど付き合いがない	43	18.5%
無回答	2	0.9%



（%）

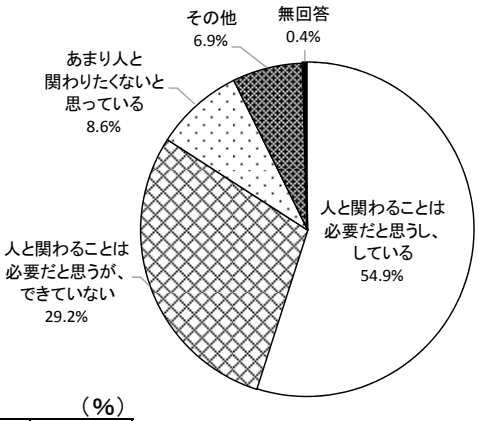
		サンプル数	何か困ったときに助けてくれる人がいる	困ったときに相談する人がいる	互いに訪問しあう人はいる	立ち話をする人はいる	顔が合えばあいさつを交わす人はいる	ほとんど付き合いがない	無回答
全体		233	37.3	8.2	6.0	13.3	15.9	18.5	0.9
性別	男性	65	26.2	6.2	3.1	12.3	21.5	29.2	1.5
	女性	168	41.7	8.9	7.1	13.7	13.7	14.3	0.6



問 16	日常でのご近所付き合いについて、どのようにお考えですか。

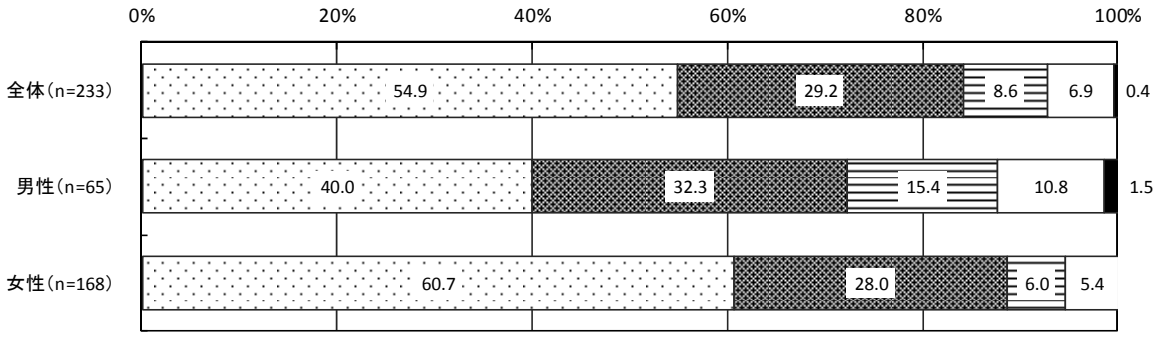
（N=233）

	回答数	割合
人と関わることは必要だと思うし、している	128	54.9%
人と関わることは必要だと思うが、できていない	68	29.2%
あまり人と関わりたくないと思っている	20	8.6%
その他	16	6.9%
無回答	1	0.4%



（%）

		サンプル数	人と関わることは必要だと思うし、している	人と関わることは必要だと思うが、できていない	あまり人と関わりたくないと思っている	その他	無回答
全　体		233	54.9	29.2	8.6	6.9	0.4
性別	男性	65	40.0	32.3	15.4	10.8	1.5
	女性	168	60.7	28.0	6.0	5.4	ー

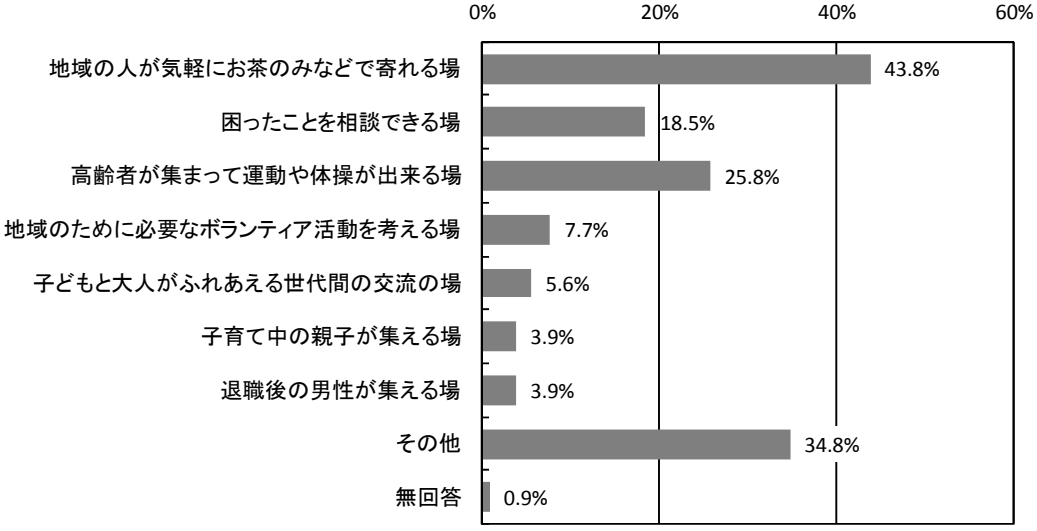


□人と関わることは必要だと思うし、している
▩人と関わることは必要だと思うが、できていない
▤あまり人と関わりたくないと思っている
□その他

問 17	あなたの住んでいる地域にこれから必要だと思われる「住民同士がつながる場」とはどんな場だと思いますか。（〇はいくつでも）

（N=233）

	回答数	割合
地域の人が気軽にお茶のみなどで寄れる場	102	43.8%
困ったことを相談できる場	43	18.5%
高齢者が集まって運動や体操が出来る場	60	25.8%
地域のために必要なボランティア活動を考える場	18	7.7%
子どもと大人がふれあえる世代間の交流の場	13	5.6%
子育て中の親子が集える場	9	3.9%
退職後の男性が集える場	9	3.9%
その他	81	34.8%
無回答	2	0.9%



※複数回答

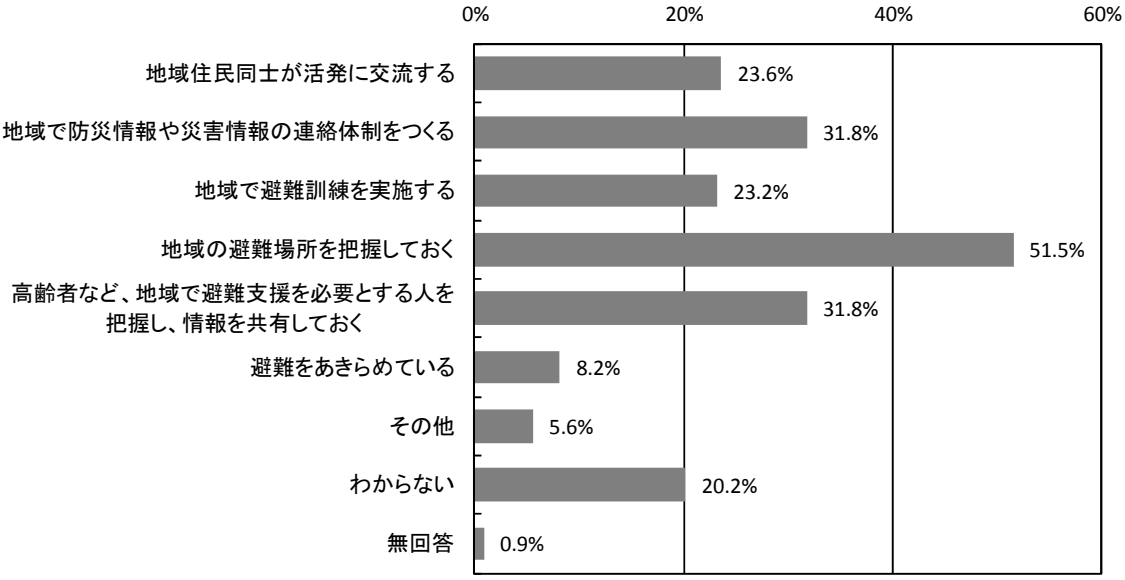
（%）

		サンプル数	地域の人が気軽にお茶のみなどで寄れる場	困ったことを相談できる場	高齢者が集まって運動や体操が出来る場	地域のために必要なボランティア活動を考える場	子どもと大人がふれあえる世代間の交流の場	子育て中の親子が集える場	退職後の男性が集える場	その他	無回答
全体		233	43.8	18.5	25.8	7.7	5.6	3.9	3.9	34.8	0.9
性別	男性	65	35.4	18.5	23.1	9.2	6.2	4.6	10.8	35.4	1.5
	女性	168	47.0	18.5	26.8	7.1	5.4	3.6	1.2	34.5	0.6
年齢別	50歳未満	11	27.3	18.2	27.3	45.5	27.3	27.3	36.4	36.4	9.1
	50～59歳	4	25.0	50.0	25.0	—	25.0	—	—	50.0	—
	60～64歳	2	—	50.0	—	—	—	—	—	50.0	—
	65～69歳	5	20.0	40.0	20.0	20.0	—	—	20.0	20.0	—
	70～74歳	17	47.1	23.5	23.5	5.9	—	5.9	—	23.5	—
	75～79歳	45	42.2	20.0	26.7	4.4	4.4	2.2	4.4	42.2	—
	80～84歳	72	44.4	16.7	29.2	8.3	5.6	4.2	1.4	33.3	1.4
	85歳以上	77	49.4	14.3	23.4	3.9	3.9	1.3	1.3	33.8	—

問 18	災害時に地域住民が助け合って避難するためには、日頃から地域ぐるみでどのような準備をすればよいと思いますか。（〇はいくつでも）

（N=233）

	回答数	割合
地域住民同士が活発に交流する	55	23.6%
地域で防災情報や災害情報の連絡体制をつくる	74	31.8%
地域で避難訓練を実施する	54	23.2%
地域の避難場所を把握しておく	120	51.5%
高齢者など、地域で避難支援を必要とする人を把握し、情報を共有しておく	74	31.8%
避難をあきらめている	19	8.2%
その他	13	5.6%
わからない	47	20.2%
無回答	2	0.9%



※複数回答

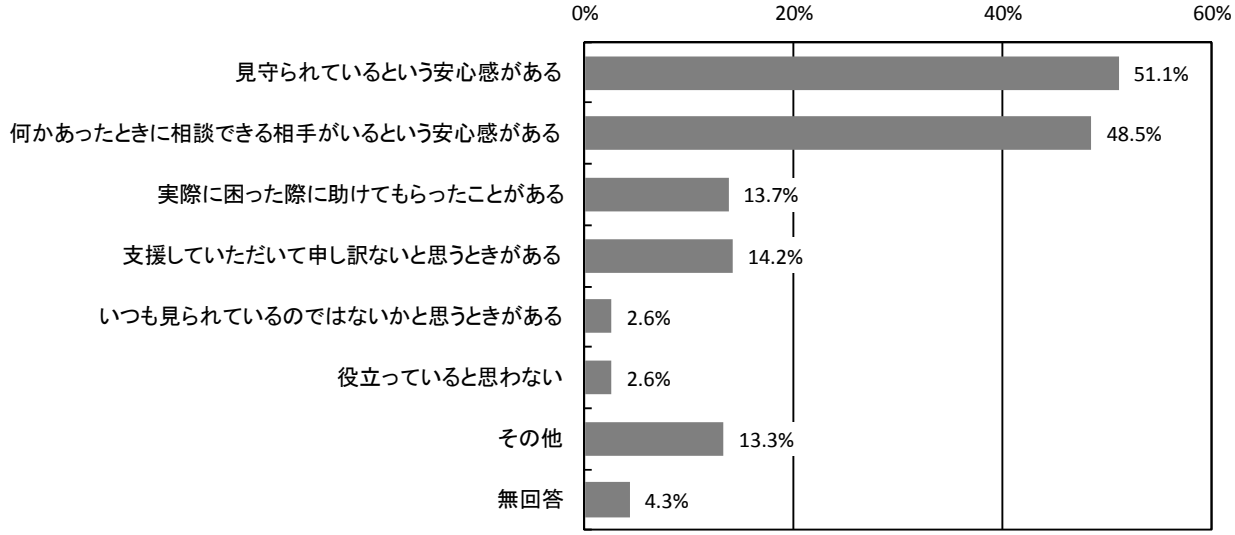
（%）

		サンプル数	地域住民同士が活発に交流する	地域で防災情報や災害情報の連絡体制をつくる	地域で避難訓練を実施する	地域の避難場所を把握しておく	高齢者など、地域で避難支援を必要とする人を把握し、情報を共有しておく	避難をあきらめている	その他	わからない	無回答
全　体		233	23.6	31.8	23.2	51.5	31.8	8.2	5.6	20.2	0.9
年齢別	50歳未満	11	27.3	45.5	27.3	54.5	36.4	—	9.1	18.2	18.2
	50～59歳	4	25.0	25.0	50.0	25.0	50.0	25.0	—	—	—
	60～64歳	2	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—
	65～69歳	5	20.0	20.0	20.0	40.0	40.0	20.0	—	20.0	—
	70～74歳	17	29.4	35.3	11.8	52.9	23.5	11.8	5.9	11.8	—
	75～79歳	45	22.2	42.2	20.0	53.3	37.8	8.9	4.4	24.4	—
	80～84歳	72	27.8	37.5	29.2	62.5	31.9	4.2	—	15.3	—
	85歳以上	77	19.5	19.5	20.8	40.3	28.6	10.4	11.7	26.0	—

問 19	「ふれあい活動（見守り、声かけ活動）」で、感じることを教えてください。（○はいくつでも）

（N=233）

	回答数	割合
見守られているという安心感がある	119	51.1%
何かあったときに相談できる相手がいるという安心感がある	113	48.5%
実際に困った際に助けてもらったことがある	32	13.7%
支援していただいて申し訳ないと思うときがある	33	14.2%
いつも見られているのではないかと思うときがある	6	2.6%
役立っていると思わない	6	2.6%
その他	31	13.3%
無回答	10	4.3%



※複数回答

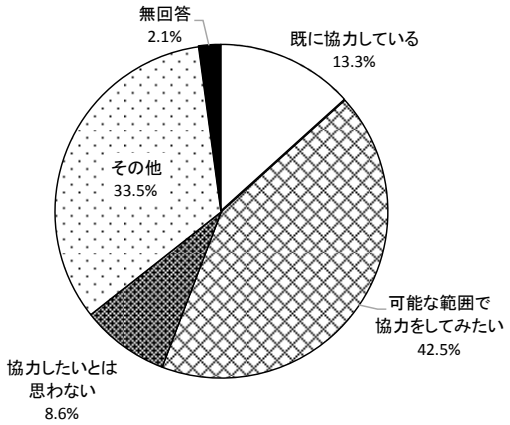
（%）

		サンプル数	見守られているという安心感がある	何かあったときに相談できる相手がいるという安心感がある	実際に困った際に助けてもらったことがある	支援していただいて申し訳ないと思うときがある	いつも見られているのではないかと思うときがある	役立っていると思わない	その他	無回答
全体		233	51.1	48.5	13.7	14.2	2.6	2.6	13.3	4.3
年齢別	50歳未満	11	9.1	27.3	—	—	—	—	27.3	36.4
	50～59歳	4	—	—	—	—	25.0	25.0	25.0	25.0
	60～64歳	2	—	50.0	—	—	—	—	50.0	—
	65～69歳	5	20.0	—	—	—	20.0	20.0	40.0	—
	70～74歳	17	41.2	35.3	11.8	5.9	—	—	17.6	11.8
	75～79歳	45	46.7	48.9	11.1	13.3	4.4	4.4	11.1	2.2
	80～84歳	72	61.1	54.2	16.7	18.1	1.4	—	11.1	1.4
	85歳以上	77	58.4	54.5	16.9	16.9	1.3	2.6	10.4	1.3

問 20	あなたは地域の行事や活動に協力してみたいと思いますか。

（N=233）

	回答数	割合
既に協力している	31	13.3%
可能な範囲で協力をしてみたい	99	42.5%
協力したいとは思わない	20	8.6%
その他	78	33.5%
無回答	5	2.1%



（%）

		サンプル数	既に協力している	可能な範囲で協力をしてみたい	協力したいとは思わない	その他	無回答
全　体		233	13.3	42.5	8.6	33.5	2.1
性別	男性	65	12.3	46.2	10.8	27.7	3.1
	女性	168	13.7	41.1	7.7	35.7	1.8
年齢別	50歳未満	11	－	63.6	－	18.2	18.2
	50～59歳	4	－	50.0	25.0	25.0	－
	60～64歳	2	－	－	－	100.0	－
	65～69歳	5	－	60.0	20.0	20.0	－
	70～74歳	17	11.8	35.3	5.9	47.1	－
	75～79歳	45	17.8	35.6	11.1	31.1	4.4
	80～84歳	72	22.2	48.6	9.7	18.1	1.4
	85歳以上	77	6.5	39.0	6.5	48.1	－

東大分校区社会福祉協議会　地域福祉活動計画	
発　行　日	平成３１年３月
発　　行	東大分校区社会福祉協議会 大分市社会福祉協議会　地域福祉課　地域福祉係 〒８７０－０８３９ 大分市金池南１丁目５番１号　ホルトホール大分４階 ℡　０９７－５４７－７４１８